第三種郵便物認可 大正九年十一月十四日

新京日日新聞

夕刊 四月十九日

發行所 新京日日新聞社
印刷人 水越内之介

重要國策に即する警察體制を確立

警察官再教育に重點

經濟、農業兩政策を始め各種重要國策の要請に應じて近代警察體制の完遂へ邁進する警務司の本年度施政方針は今次警務廳長會議にも明示された如く、近時頓みに進展しつゝある當面の重要國策に協力し警察本來の使命を達成するためにはまづ機構の整備と相俟つて警察官の素質向上が喫緊事とされ、この見地からこれに對處する教養方策を考究し、警察讀本の改編をはじめ教養地區會議の開催等、凡ゆる方面からこれが達成に努めつゝあるが、今回更に警察官養成の根幹である地方警察學校の整備擴充三ヶ年計畫案を樹立、目下各警務廳に通牒しその意見を取纒め中で、近く具體的決定を見る豫定である、此の地方警察學校の整備擴充は從來機構の不備から兎角新任警察官の養成のみに偏重し、現職警察官の再教育が輕視され勝ちであつたのを量より質の教養方針に基き、これが重點を再教育に置き優秀警察官の養成により膨脹の一途を辿る警察行政の遂行に遺憾なきを期することになつた

物價日に昂騰 經濟危機に苦悶

重慶政權下火の車

【香港十九日發國通】本年に入つてからの四川、雲南その他支那奧地の物價高は益す深刻となりつゝあるが、最近重慶から當地に到着した經濟專門家の語る所に依ればその現狀は次の如くである

重慶政權治下に於ける物價問題は最早單なる經濟現象の域を逸脱して社會不安の問題に變りつゝある、重慶當局は抗戰政策に對する民衆の支持喪失を惧れ物價騰貴抑制に必死の努力をなしつゝあるが、現在の所何等の成果も擧げてゐない、斯くて物價昂騰による經濟危機は今や重慶政權の前途に大なる暗影を投じてゐる

しかして奧地の高物價に付て言へば重慶では上海製綿糸一梱が三千元を唱へ米價は一石百四十元に達し食糧品衣服類では品不足の暴騰甚しく以前一着廿五元のものが今では百五十元、また料理屋の靑豆一皿が三元である、外國製奢侈品は驚く程高く葉卷煙草の如きは百廿元の高値で、消費物のみならず建築用品、石炭、棉花、金屬類等の生産資材もそれに伴つて暴騰してゐる

高物價が外國品のみならず内國品にまで及んでゐることはその影響を愈よ深刻ならしめてゐるが、物價騰貴の主原因は

一、對外ルートの崩壞
一、支那内地に於ける通貨膨脹

にあり輸送の困難は日本軍の廣西作戰以後殊に深刻となり、現在の運輸上の重要機關たるトラックの數は重慶政權治下全地域を通じ軍用、民用を併せて總數一萬四千臺に上りそのうち三千臺が民用のものである、事變前さへも道路の不良、運轉手の未熟練、豫備部分品の缺乏等により輸送能力が低かつたが、今日では輸送上の大問題はガソリンの不足でありこれがためトラックの六十乃至七十パーセントは運營を停止してゐる

重慶の軍事委員會はトラックの代りに水路の利用及び家畜の使用を奬勵しまた西南諸省では苦力を徵收して鐵肩部隊なるものまで組織されてゐるがこれ等の代用機關は物資の配給上圓滑を缺き、更に都市に於ける物價暴騰の重大結果を齎すに過ぎない、しかも都市と田舍海港と内地の物價騰貴率の不均衡は支那内地に於ける經濟的混亂を增大せしめる原因となつてゐる

通貨問題に對して言へば重慶政權の公債及び紙幣の濫發に基くインフレ傾向は顯著となりつゝあり、當局は萬一の經濟組織崩壞防止のため内地と上海、香港その他海港間に於ける現金取引に對し統制を實施したが、この政策はかへつて奧地に於ける法幣の低落を招き海港と奧地の物價に不均衡を來し、公定價格制も全く效なく闇取引の横行を增長せしめてゐる

兎に角現在支那に於ける最も重大なる問題は工業製品と農産物間の價格の開きが增大しつゝある點である、即ち農民等は農産物價格に比し不當に高價なる工業製品の購買を强ひられ、今や農民大衆は愈よ深刻なる農業危機のどん底に沈淪してゐる

秩父御名代宮殿下御訪滿の首席隨員として渡滿當時謹寫せる記念撮影(前列左より四人目故林權助男)

壽像後世に輝く

鎭江山に新東亞發足の入魂

故林權助男の靈を慰む

明治日本の多難な外交を背負つて縱横の活躍を遂げ世界日本の基礎を築いた我が外交界の元勳、林權助男の遺骨が男逝いて一年、遺言によつて滿鮮國境の安東鎭江山に埋められることゝなり、十九日午後一時から安東市公署で故男の友人をはじめ市公署、民間有志の關係者が集つて納骨式の第一回打合せ會を行つた、男の遺族も來る六月上旬頃には來安して納骨式に參列し故男の靈を慰めることゝなつてゐるが、安東市外の名もなき丘に男の遺骨が安置されるようになつた蔭には林男らしい次のやうなエピソードがある

明治三十年ドイツが膠州灣を占領した直後のこと當時賜暇歸朝中のロンドン領事林男は突然北京公使館首席書記官を拜命朝鮮經由で赴任の途次安東縣で

『この上には鎭江山といふ高臺がありますそれはいゝ展望です』

と敎へられ、山には珍らしい坊主がゐる事まで聞込んで早速鎭江山に登つたのである、當時の感想を男は『わが七十年を語る』のうちで

『天空一帶には朝鮮の山が無限に重りあつてゐる長白山から金剛山も此の奧に潜んでゐるかと直ぐ感ぜられるやうだ、俯瞰すれば洋々たる鴨綠江が無心に流れてゐる、ひろい渤海灣の右手には雲煙模糊として南滿の山々が恰も鰐の尾のやうに連つてこの鎭江山にまで參差してゐる』

と語つてゐるが、鎭江山頂の景色は男の胸を強く打つたのだらうその後北京公使として赴任のときも男はわざ〳〵鎭江山を訪れその時には既に故人となつた庵主の供養を濟ませたのち再び丘の上に立つて

『わたしが死んだらこゝに埋めて貰ふかな、これは良いところだ』

と傍の人に洩らしたものである、その後英國大使としては、二度目の訪問のとき色々と世話をして吳れた鴨綠江木材公司の尾崎齋氏から

『いよ〳〵御壽像が建ち上りますからその表へ彫りつける文字を書いて下さい』

といふ手紙を受けとり『林權助壽像』と書き送つたのだつた、今鎭江山臨濟寺の北側にある男の石碑はその當時の男の直筆を彫刻したものである、その後何十年外交界から身を退き樞密院の要職にあつて御奉公した老いた男の胸のうちを去來するものはいつも鎭江山から眺めた雄大な風光であつたに違ひない、男は生前の約束通り遺言にはつきりと死後は鎭江山に納骨するよう書き遺し波瀾に富んだ生涯を終へたのであるが、半生を朝鮮と支那のために打込んだ男の魂がいま新生東亞建設の力強い第一歩を踏み出したとき、ところも滿鮮國境の鴨綠江のほとりに埋められることは男としても本懷であらう、先年秩父御名代宮殿下御來滿の折、首席隨員として來滿した男は新興滿洲國の南門として見違へるやうに發展した安東の姿をみて

『わたしが最初通つた時分は滿鮮の土民がただ雜居してゐるだけで見る影もない寒村だつたよ』

と感慨を洩してゐたさうである

日本國體に深き御造詣

御進講の平泉博士謹話

【下關國通】滿洲國皇帝陛下には近く御來訪の途に就かせられるが特に歷史に御造詣深き陛下には御來訪に先立ち日本の歷史につき御聽講遊ばされたが、輝く御進講の光榮に浴した東京帝大文學部國史學主任教授平泉澄博士は御進講の大任を果して十八日夜下關入港の關釜連絡船金剛丸で歸來、同八時三十分發特急富士で東上したが、同博士は山陽ホテルで少憩中次の如く感激を語つた

世界各國の盛衰を概觀して日本の歷史に及び日本の國體を明らかにするといふ順序で三月二十七日から前後六回にわたつて御進講申上げました、陛下には終始御熱心に御聽講遊ばされ屢々御下問あらせられましたが日本歷史及び日本國體に關する深き御研究御造詣の程を拜し唯々感激の外はありませんでした、なほ天照大神の御神德及び神武天皇をはじめ奉り、御歷代の御聖德につきまして深く御感動の御模樣に拜されました、天資英明、且つ帝王の德を備へさせられると拜察し、又拙き御進講に對し有難き御言葉を賜り恐懼感激申上げました

官吏制度改正

來月中閣議に附議

【東京發國通】官吏制度改正について米内首相は第七十五議會に於いてこれが全般的改革の要ありと屢次に亘つて言明して來たところであるが、法制局では右首相の言明に基いて議會終了とゝもに企畫院と密接な連絡をとつて

一、身分保障制の撤廢
一、文官任用令の改正
一、高等試驗令の改正
一、人事交流制度確立

を主とせる官吏制度の全般に關してこれが改正原案の調整に着手し成案を急いだ結果、細目を除く大綱を得たが更に再檢討を加へた上早ければ來月の地方長官會議終了後直ちに閣議に附議したき意向である、然し官吏制度の改革は歷代内閣が手を燒いた問題だけにその取扱には愼重を期して居るので恐らく右の大綱を附議するのは來月末となるものと見られる

佳木斯醫大の機構に疑問符

競合爭奪防止要望

開拓地乃至は義勇隊訓練所の醫者となる開拓地配屬關係の醫學校は今年から佳木斯に開校されることゝなつたので義勇隊員中の有資格者を出來る限り參加入學させ樣と關係機關で斡旋の結果、義勇隊員からの志願者三十餘名現はれ、すでに旅順醫專に入學した義勇隊員と併せて四十餘名の醫者の卵がフ化することになつた

ところが民生部初の口吻は出來る限り義勇隊員の採用を行ひ入學資格の點も緩和するとあつたにも拘らず、最近に至り中學四年終了以上の入學資格に拘泥しはじめたゝめ、滿拓斡旋の義勇隊員中に入學可能者は相當減少することゝなり同醫大設立の特殊性、義勇隊員の希望の芽をつむが如き結果となるので義勇隊員の入學資格については特例を設けることが過渡的辨法であるとして關係者間に要望されてゐる

なほ開拓團及び訓練所に對する全面的の醫師の配屬問題は本年は昨年に比して可成り困難な狀態にあり、これが對策として滿支向け醫師の供給は日本側において適正なる配給計畫を樹立、滿洲側においても需要機關の合議に基きこれ又適正なる配分計畫を確立し醫師獲得のための競合爭奪の激化現象の兆を未然に防止せよとの要望が起つてゐる

市井談義

勤め人は現世樂

午前十時・喫茶店氾濫

昨日午前十時、大同大街で出會つた友人と二人、お茶でも飲まうとニッケへ寄つたら滿員で腰掛ける席がない。そこで康德會館の文莽堂へ行つて見たが矢張り一杯だ。たうとう向ひ側の海上ビルの明菓に行つてやッと二人の腰を下ろす場所を見つけた▼喫茶店の繁昌は全市的の現象で、こんなことは別に珍らしくも何ともない。たゞ午前十時といふ時刻が、市井子の眼を光らしめたのである▼あの邊の喫茶店の客は場所柄殆ど全部がサラリーマンであるこの時も附近のビルに事務所を持つ會社の社員達がその大部分を占めてゐたことは、襟のバッヂが證明した▼この頃の出勤は大抵九時で、十時と言へば將に事務に油の乘りかゝつた、一日の内で最も緊張した時間である。それにかくも多數の會社員が喫茶店で陽氣にコーヒーを啜り乍ら雜談に耽つてゐる。呆れざるを得んやである▼今滿洲國の官廳、特殊會社は、例外なしに正午から午後一時までは休業で、官吏、社員は大抵晝食の爲め外出する。それがキッチリ一時に歸るなら未だいゝが、三十分、一時間は平氣で遲れる。二時前にお役所に電話をかけて當の相手の居つた例しは殆どない▼それでゐて土曜以外は四時になればサッサと退出する。皆が皆までかうしたふしだらだと言ふのではない▼滿洲國には、日曜祭日が一年の内八十日あると言はれてゐる。ウソと思つたら數へて見るがいゝ▼全體こんなに遊んでばかりゐて果していつ仕事をするのか。それとも一日セイ〳〵四時間働くだけの分量しか仕事がないのか。若しさうだつたら不用の人員が如何にも多いといふ事になる▼「爾が俸、爾が祿、是れ皆民の膏血」と、支那の昔の聖人は敎へた。高い俸給を取つて、朝つぱらから何もせずにブラ〳〵遊んでゐるやうな人間は、民の膏血を盜む匪賊である▼建設途上にある非常時下の滿洲國の官界、業界に、かゝる澤山喰ひ潰しが居つては耐まらぬ▼折角與へられてゐる休日まで減らせとは言はぬ。せめて八時間勤務のその間だけは緊張して働くべし。若しそれで人が剩るなら減らすがいゝ。今日本では人が足りなくて困つてゐる。態々滿洲國まで呼び寄せて、遊ばせて置く法はない▼午前十時に於ける喫茶店の客が市井子にこんな憎まれ口を利かしむ。我れ豈辯を好まんや。全く眼に餘ればなりである。

汪氏の巡歷 民心に好印象

和平運動を促進

【南京十八日發國通】汪精衞氏は行政院長の資格を以つて北京訪問を振出しに九日には張家口、十二日廣東十七日漢口を訪問、各地日支軍官代表と還都後初の交驩を遂げると共に支那側各機關公務人員に對しては嚴正なる訓辭を與へ一般民衆並に重慶側に對してもラヂオを通じて還都の意義を宣明、和平熱を促進したが、汪院長が還都直後全支遍く行脚して超人的精力を遺憾なく發揮したことは民心に頗る好印象を與へ四億民衆の歸趨を愈よ決定的ならしめた感がある

汪院長は十八日午後漢口より空路歸寧したが、今回の南北巡歷に依り各地方の政治、經濟、社會各般の事情も愈よ明瞭となり今後は南京に本腰を据ゑて外交關係の調整經濟合作の具體化、通貨問題の解決、憲政の實現等當面緊急の諸問題の解決に邁進するものと見られる

鮎川滿業總裁視察報告

歐洲より歸任以來ヤマトホテルで病氣療養中であつた鮎川滿業總裁は、最近快方に向つたので十八日梅津關東軍司令官と會見視察結果を報告したが、十九、二十の兩日は星野總務長官その他關係方面と懇談を遂げたのち廿一日午前九時半はとで大連經由東京に向ふことゝなつた【寫眞は星野長官と會見の鮎川總裁】

阿部全權團南京へ

【門司發國通】新支那中央政府の慶祝に使する特命全權大使阿部信行大將以下慶祝使節を乘せた東亞海運鹿島丸は十九日朝七時卅分春霞を衝いてその雄姿を門司港に現はした、壇ノ浦和布刈の關門海岸は一行を送迎する小學校兒童その他一般市民に埋められ萬歲の聲は海峽を搖がすばかりである船橋から阿部大使をはじめ一行が答禮の手を高く打振つてゐるのが判然と見える、花火の爆音とゝもに入港、通峽の各船舶からも慶祝汽笛が高く響く慶祝交響樂が高らかに奏でられ同八時三十分慶祝船は和平建國の標識を橋頭高く春陽に輝かせて一路南京にその姿を消して行つた

技術協會總會

財團法人滿洲技術協會では二十日午前十時から新京日滿軍人會館で第十六回定時總會を開催、十一時から滿洲土地開發株式會社理事長梅野實氏の「技術回顧と希望」と題する講演を聽き、更らに有志は三時二十分發列車で吉林に赴き松花江ダムを見學

人事往來

着京

▲鈴木祥枝氏(東京海上火災保險社長)十九日着京ヤマトホテル
▲大和五郎氏(朝鮮銀行員)同
▲大野上吉近氏(滿業顧問)同
▲河野哲夫氏(東京櫻田機械製作所取締役)同櫻ホテル
▲宮本貞平氏(撫順滿鐵社員)同

出發

▲鎌倉巖氏 奉天へ
▲福武博愛氏 同
▲竹中常浩氏 同
▲大川忠昌氏 旅順へ

その日〳〵

◈日支經濟合作が進行する――いや、その準備工作に乘り出したといふ所

◈「知難行易」とは、これ、革命の父孫文が言つたことだつたが……

◈ヒリッピンあやしげな態度を示して來る、うるさいぞ南太平洋

◈植ゑた苗木健かに伸びよとばかりに、春の雨が降つて來た

◈みはるかすこゝの大野の黑土にほのかにめぐむ綠を愛しむ

忠靈培廣における獻木式

街の勇士 ゴジニゾフ君を表彰

國都の防犯に對する市民の協力が高唱されてゐる折柄市內陸禮胡同三〇八中銀社宅に住む白系露人ゴジニゾフ君（三三）が犯人檢擧に功勞顯著なるものありとして來る廿五日表彰されることゝなつた

ゴジニゾフ君は本年二月一日午前十時頃市內神泉路中銀獨身寮三〇一社宅に侵入した本籍山東省招遠縣羅家村住居不定無職前科一犯羅玉亭（二三）を逮捕し同治街警察官吏派出所石井警長に身柄を引渡したもので市民防犯の模範として順天防犯支部長は早速新京防犯協會に表彰方の手續をとつたものである

高千穗の聖樹
あす安民廣場で移植式

九州の聖地高千穗の峰皇子原より滿洲國に移し植ゑらるべく持參せられた神木マタタビ、モシトガ、イタヤエンジユ、カシワ、ハルニレ、ネコヤナギ、ハンノキネムノキ等は愈よ二十日由緒も深い市內安民廣場訪日宣詔記念塔附近に移し植ゑられることになり午後二時よりこれが移植式を同所に於て擧行することになつた

大食國都人 ヤマトホテルの食費調べ

新京唯一の洋式旅館ヤマトホテルの昭和十四年度の收入八十六萬圓、前年の六十萬圓示に比べて四十%の激增を示し十五年度は百萬圓を突破するものと見られてゐる、このホテル收入の八十%まで食事並に宴會費で食事人員一日平均七百八十名といふに於ては如何に新京人が食ひしんぼうであるかゞ窺はれる

皇帝陛下 獻木御嘉納

植樹節に因み新京特別市より皇帝陛下に獻木される松イタヤ楓、カンボク、ハシドイ等五本の樹木は皇帝陛下の御嘉納あらせられるところとなり廿日午前中于市長が宮內府に持參獻上することゝなつた

春雨見舞ふ 植樹節第二日
白衣の勇士も參加
"綠"の戰線最高潮！

滿洲の赭土を綠一色に塗りつぶせ、植樹節第二日十九日は遂に例年植樹節にはつきものゝ雨に見舞はれたが煙る春雨の中に前日に引續いて「綠への奉仕」が各所で賑やかに行はれた

▽午前九時半、學生各義勇奉公隊三千四百十六名は環狀道路服裝も凛々しく環狀道路の鍬の奉仕、又南湖々畔黃龍公園では可愛い〻國民優級學校生徒等二千七十名が元氣一杯で土掘り水運びに轉げ廻つてゐる

▽一方午前十時からは忠靈塔前に於いて護國の英靈に對して植樹の成功を祈願する獻木式が擧行され新京放送局からは協和會首都本部守參事がマイクを通じて滿系大衆に「綠へ綠へ」と呼びかける等國都は植樹促進の雰圍氣が各所に擴つた

なほこの日祖國のために戰線に傷ついた白衣の勇士五十名は不自由な身にも拘らず盛京大路の植樹奉仕に從事、市民の感謝感激の的となつた

更生塾愈よ開校

在滿半島人の苦學生達のために國立新京鑛工技術院教授宮垣文平氏發起のもとに工業技術員養成機關として新京東四道街大同佛教會の後援を得て同教會內に設立準備中の更生塾は新入生五十名を迎へ二十二日から開校することゝなつた

生活問題を俎上に
第一回協和懇談會＝待機の各地區

警民懇談會の發展的解消後初の會合、春季地區協和懇談會は愈よ二十二日より和順連絡幹事會をトツプに順次全市地區に開催するが同會の構成は

地域關係の分會長、副分會長、連絡幹事長並に分會長、連絡幹事長指名の役員並に分會員、官廳側は首都警察廳及び警察署市公署各關係者、關係官廳會社責任者、本部委員並に職員等で

會議は一般に公開せられる事となつてゐる、既に各地區とも協議題を取纏め待機の構へにあり當面に横はる市民生活の諸問題を官民膝つき合せ隔意なく檢討懇談する同會の成果は頗る期待されてゐる、尙敷島地區協和懇談會は二十五日午前一時から滿鐵支社三階會場で開催左の協議題を上程する

綿花節約及び綿打直賃統制に關する件▽警備燈增設重ねて要請の件▽ラヂオ雜音防止に關する件▽塵芥箱に關する件▽步道修理に關する件

俄か大盡 窃盜犯捕る

十八日午後十時頃市內富士町二丁目を徘徊する擧動不審の一邦人を折から密行中の本廳第一强力班成松刑事が發見、本廳に引致取調べを行つたところ去る六日主家の小切手一千圓を窃取その金で市內花柳街に俄か大盡を極め込んでゐた男であることが判明した

三重縣桑名郡長島村大島一一二七生れ吉林市道天街二九號土木請負業伊藤鐵太郎傭人大工柴田圓松（二六）で去る六日主人の留守中机の抽斗にあつた小切手帳から一千圓を自筆捺印して窃取その足で吉林銀行から現金一千圓を引き出し新京に高飛びしたが、久し振りに握つた大金に浮かれ富士町二丁目料亭義家に遊興四日間の居續けに五百二十圓餘を消費してをりその他三笠町の料亭二、三で二百圓餘と僅か一週間足らずにざつと七百九十二圓を氣前よく女に費ひ果したまではよかつたが殘り少ない金を持つて義家に最後の遊びをしようと出掛ける途中遂に成松刑事に發見逮捕されたものである

ホームで奇禍

平治街八一號孫有（五〇）の甥劉五子（一三）は十八日午後十時三十五分新京驛發哈爾濱行列車に乘車すべく第一ホームの階段を下りきつたところ、向側階段から轉がり落ちて來た〇〇用車輛が左腹部に激突してその場に昏倒、係員らによつて直ぐ樣順天醫院へ擔ぎ込んで應急手當を施した甲斐なく十九日朝絕命した

同車輛は〇〇社員張某が同列車に乘るべく降段途中、足をすべらしたはづみに落し慘事を惹き起したもの

お多福逃る

三笠町三ノ一九双葉こと治郞丸介さん抱へ藝妓お多福こと東京生れ小林ハナ（三〇）は十七日午後八時頃無斷外出したまゝ前借を踏倒して逃走、十八日午後店主より中央通署へお多福の取押へ方を願ひ出た

荷馬車を盜る

鐵北三不管東興街三號荷馬車業牛振山さん（四三）は十八日一日の仕事を終つて自宅前に置いた荷馬車一臺（ゴムタイヤ附市公署鑑札一一九號價格七百圓）を午後五時から同九時までの間に盜まれて寬城子署に訴へ出た

天然痘患者 映畫館へゆく
防疫陣へ戰慄的報告！

市民の恐怖天然痘患者が相次いで二名發生國都の痘瘡患者は合計十名となり防疫陣を緊張せしめてゐる矢先十八日眞性天然痘患者が市內の映畫館に現はれたと云ふ報告が市公署防疫股並に首警防疫股に入り神經を尖らさせた

しかしさて何處の映畫館とも判明せず直ちに市內の十數ケ所の映畫館に係官を急行調査せしめる一方消毒を行つたが患者らしき者は何處へ立去つたかすでになかつた

しかも報告は全然間違ひでないとあつて當局の焦慮は濃く各署衞生科を督勵一段の防疫强化に全力を上げてゐる

四道街署管內にも現る

恐怖の天然痘四道街署管內にも現はる——市內四道街長警子院內一四五號李姓さん（一五）は十九日眞性天然痘と診斷、千早醫院に隔離された

なほ牡丹江から奉天への歸途眞性天然痘と診斷された奉天市彌生町四〇土木請負業平田景一氏（四〇）の傳染系統につき首警防疫股で調査してゐるが同人は新京鴻池組出張所內に假泊し、三月八日奉天に歸つたとき既に流行地においで感染したものが同人所持の古着に病毒が附着してゐた

全滿軍用犬展
六月十六日を期し兒玉公園で開催

平戰時を問はず物言はぬ勇士軍馬と共に國防資源たる軍用犬の重要性はますます痛感させられこれが育成は國民の務の一であるとまで叫ばれてゐるとき軍犬十萬頭計畫のもとに着々實現に邁進をつづけてゐる滿洲軍用犬協會では全滿軍用犬の超弩級をすぐつて六月十六日新京兒玉公園に於て第八回滿洲軍用犬展覽會を開催することに決定した

出陳種類はシエパード、ドーベルマンピンチエル、エアデールテリヤの三種で成犬は生後二十四ケ月以上未成犬の壯犬十八ケ月以上二十四ケ月未滿、若犬十二ケ月以上十八ケ月未滿、幼犬六ケ月以上十二ケ月未滿である（但し出陳犬の年齡は康德七年六月十五日現在とす）

全滿畜犬家は所定の樣式により五月二十五日までに滿洲軍用犬協會本部に到着するやう書類の提出を要する

お待ち兼ね 有獎儲蓄債券
第六回五月十五日賣出し

郵政總局では第六回有獎滿洲儲蓄債券を五月十日から廿五日まで賣出すが、額面は十圓、賣出價格は七圓五十錢、抽籤は第一回康德七年七月（第二回以降は每年一月及七月の二回）償還期限は康德二十年七月である

「買つて直ちに御奉公」のスローガン下に割增金により國民大衆層の趣味と實益を狙つた有獎債券は康德五年一月初めて賣り出されたもので元來第三回目までは額面總額二百萬圓であつたのを豫想外に好評のため第四回から一躍三百萬圓に增額したが

それでも尙賣出し當日は早朝から熱心な國策マンが興銀本支店、各郵政局門前に緒列開門をまちわびた擧句當日午前中に「賣切れ申候」の立札をあげさせると いふ人氣ものだけに今回の第六回債券はボーナス期前の好條件もあつて官廳、會社の豫約などで猛烈な爭奪戰が豫想されてゐる、なほ今回は從來の額面十圓が賣出額七圓五十錢となり償還期を最長十三年餘に短縮割增金も從來に比し

▲頭彩＝千五百圓▲二等＝百圓▲三等三十圓▲四等十圓

大體從來より五割方增額されてゐる【寫眞は總局に山と積まれた債券】

國婦 野菜廉賣 第二回廿三日から

市民のお臺所に新鮮で營養價の多い野菜を安價に頒布すべく、國防婦人會首都本部では生鮮食料品會社の犧牲的奉仕によつて先般第一回の野菜廉賣會を開催國都の御婦人連を喜ばしたが、國婦ではこの好成績に鑑み、第二回の野菜廉賣を廿三、廿四、廿五の三日間左記場所に於て開催することになつた

廿三日國防會館、廿四日電業村都南莊、廿五日電電クラブ、開場時間は午前十時から午後四時まで野菜品種は二十種目、中にトマト、ナスビ、キウリ等の溫室生のはしりものも出る事となつてゐる

尙期間中は國防婦人會首都本部會員が交互に會場に出張勤勞奉仕を行ふ筈である

牛を密殺

十八日午前一時頃和順區民豐街派出所蔡緝詩警士が管內巡視中二道河子東盛六條胡同門牌十八號金春和（六七）方前にさしかゝると屋內より異樣な物音が洩れるので不審に思ひ、表戶を押しあけて踏みこむと金が大牛一頭を密殺してゐるところだつたので證據物件と共に金を檢擧した密殺常習者と睨み嚴重取調中

勞務講習會

勞務行政方針並に法規運用の周知徹底と勞務行政の浸透を期するため各省及び特別市勞務行政擔任者の勞務講習會を民生部勞務司主催で五月十三日から十八日まで六日間同講堂に於て開催することに決定した

右講習を受けた各省及び特別市勞務行政擔任者はそれぞれ歸省の上更に各地方の勞務關係者の講習會を開き所期の目的を達成することになつた

滿俱會員券發賣

三十年の光輝ある歷史を有する新京野球俱樂部は本年より新京滿俱と改稱往年の黃金時代を目ざし意氣軒昂たるものあるが同チームの素志を達成させるべく滿鐵新京支社內に滿俱後援會を組織し從來通り一般に對しても普く會員を募ることとなつた

會員券は四圓（四ケ月々賦）で支社福祉係（佐々木）電三一二〇九一で取扱つてゐる

あす（廿日）

▲植樹節第三日 黃龍公園環狀線にて植樹午前九時
▲滿洲鹽業會社會議 於ヤマトホテル午前十時
▲產業部鑛務司鑛政科會議 於國防會館午後一時
▲鑛工技術員協會會議 於軍人會館午前十一時

今晚の放送

▲七・三〇（東京）國民歌謠「蠶」神田千鶴子 ▲七・四〇（南京）講演 ▲八・〇〇（東京）二分間對話（錄音）▲八・四〇（東京）連續講談「都築武助」（三）神田伯龍 ▲九・一〇（東京）時事解說

公園の池の人氣もの 輕快な模型ヨット
森繁アナ 自慢のそよ風號

春和らぐ國都の午後、大同公園や順天公園の池面を實物と少しも違はない精巧な模型ヨツトが春風をきつて輕快に翔走する姿が度々見受けられ滿洲には珍しいヨットの登場だけに近隣の小學生たちを喜ばせてゐる

これは新京中央放送局アナウンサー森繁久彌氏が仕事の餘暇を割いて半歲がゝりで完成した高さ一米、長さ九十糎二本マストの苦心の模型ヨツトでその名も輕快なそよかぜ號と名づけられ子供連羨望の的となつてをり最近創刊された滿映ニュース「コドモ滿洲」第一輯にそのスマートな姿をさめられ近く全滿の坊つちやん孃ちやんの前に登場することゝなつたが

森繁氏は小學生時代から大の模型狂で、現在までに作つた電氣機關車、軍艦、汽船、飛行機などの模型は百臺以上にのぼつて居り昨年新京放送局に就任以來暫らく模型製作から遠ざかつてゐたのを慰安に惠まれない在滿小學生の模型製作の一助にと再び手をそめた第一回作品である

△森繁アナウンサー談＝いゝ年をしてこんなものを作つたといふことを新聞に出されちや困るなあ、暫く模型を作ることから遠ざかつてゐたがこちらの小學生諸君などで船を作つてゐる人が殆どないのをみて學童の科學知識普及にと思つて作つたやうな次第です【寫眞は池面を滑出すヨツト】

（第三種郵便物認可）

萬華鏡

これぞ扇芳會館のチケット賣場に最近現はれたチケットガールである、彼女の身元調べを行ふべく窓口から硝子をへだてゝ質問する「君ナンテ言ふ名だい」「わたし、わたし名取よ」「名取つてあの名取の何かに當るのかい」「えゝ、妹よ」「へえ、あの名取の妹か、名は？」「名前、モモ子といふの」「モモ子つて桃太郎の桃か、それとも百を二つ書くのかい」「桃太郎の桃よ」▼話中出て來るあの名取といふ方はその昔こゝにゐた名取君子孃、オツト、その昔ばかりでなく最近國都へ歸つて來て現在も働いてゐるのだが、その歸つて來た時にこの妹を連れて來たのであらう、さてこの桃子孃であるが、彼女を昔から知つてゐるといふ人があの子は美耶子といふ筈だがと言つてゐたが、本人が桃子と稱するし、ダンサー諸氏も桃チャン、桃チャンと呼んでゐるからやはり桃子にして置かう▼この姉にしてこの妹ありで、中々感じの良い子である、姉の方はいさゝかツンとした所があるのだが、この子は反對に愛嬌のある可愛い感じのする子である、目下仕事熱心に勵んでゐるが（もつとも時々雜誌を讀んでゐて窓口にお客が立つたのも氣の付かぬことがあるが）本當の事言ふとその中にこの仕事場を離れるのである▼といふのは彼女も姉さんの後を追つてダンサーとなるべく現在「オイチ、ニ」「オイチ、ニ」とレッスン中のダンサーの卵なのである、このことを洩れ聞いたファンが彼女のシートに坐る日遲しと待ちかまへてゐるのだが、この文を讀んだら待つ人がまた多くなることであらう早くダンサーとなつてこのファンの夢を實現させてやる事だね

寫眞の可憐な美少女は

滿語の漫才
滿蓄で初めて製作

事業萬端の準備なつた滿蓄では國都郊外東盛大街一萬坪の敷地に月十五萬枚製造可能の大レコード工場を設立來る二十六日午後二時本社吹込室の修祓式に引つゞき午後四時から星野長官以下關係各方面の官民三百餘名を招待し、星野專務以下社員多數參列下に盛大な落成式を擧行するが

同社今後の方針は政府の宣撫工作に協力滿系民衆の文化工作に盡力して專ら民衆の教撫、娯樂方面のレコード製作を中心に「滿洲人の唱ふものは滿洲人の手で」といふスローガンを揭げて滿系作曲家を動員して所謂「滿譜」による文化宣揚に努めることになつてゐる

この方針に伴ひ同社では新譜「我愛我滿洲」を來る二十日に新發賣するほか吹込濟のレコード約七十種を續續發表する筈で「勤務奉仕の歌」や友邦日本を奉祝する「二千六百年奉祝の歌」の各滿語盤等のほか滿語盤としては最初ともいふべき

「あんたはんなんで兵隊に行きなはらんえ」
「わて躰がよわうてなあ」
「ふうん、そないなもんやつたら嫁御はんのきてあらへんえぜ」

といつた調子のユーモラスなうちに國策を宣傳するレコード製作に着手したことは新動向として注目されやう

△同社文藝課長伊奈文夫氏談＝今後は色々な事情で今日迄出來なかつた滿洲人の唱ふものは滿洲人の手で作るといふことに全力を盡して行きたいと思ひます、それには滿系作曲家の出現が必要なのでして、この養成といふことに力を入れなければなりませんが同時に滿洲の古民謠を採譜近代化して全く新しいものを作らうと思つてをります、國策レコードについては近く發表の豫定ですが、一方滿語による歌謠曲、漫才童謠を以て國民に訴へたいと考へてゐます

"映畫科學研究所" 新スタヂオに生る
滿映技術研究所改稱擴充

映畫技術の向上をはかるため滿映では昨春三月長春大街の錄音所内に技術研究所を新設、トーキーの權威者川口誠彌氏を所長に迎へて映畫用諸機械の研究に不斷の研鑽をつゞけ、錄音調整機など優れたものを完成、近く實用化し得るにまで至つてゐるが

今回南新京のスタヂオ整備と相俟つて同技術研究所を映畫科學研究所と改稱すると同時に擴充することになつた

これがため滿映では日本から續々優秀な映畫技術家を招聘、滿映で使用する諸機械、フヰルム類の自家研究を行ひ自給自足にまで乘り出すべく意氣込んでゐる

女劍戟梅村茂登子一行來滿

大連を振出しに滿鮮を巡演する女劍劇團梅村茂登子一行卅一名、ピッコロ劇團金平軍之助一行十一名は十八日大連入港の定期連絡船扶桑丸で來滿した

▽仇討戀人形△

松竹京都映畫、最上米子、大河三鈴の共演する人形使ひの姉妹を主人公とした異色ある悲戀物語り、瀬川春郎の原作に基き多島泰三が脚色監督、坪井哲、御さく子、南光明、結城一朗、尾上多見太郎、富本民平ら共演の他に、新興から梅村蓉子、大阪文樂より桐竹紋十郎が特別出演してゐる、長春座廿七日封切

雜音

アトラクション淺草メ香、あきれたぼういずは一行を加へた長春座初日から好調な客足である▼唄ふ方は淺草メ香を除いたあとの二人は少し品は落ちるが客受けは充分、唄とバンドの演出としては變化もあり正味一時間といふ長場の量感もあり、長春座のものとしては最近での見應へあるものであらう▼「美女櫻」後篇も前篇同樣劍戟場面だけの賑かな七卷だが、活劇的興味は相變らず盛り上りに缺き最後の亂鬪シーンなど不手際な展開、正義派の同志相次で斃れるあたり如何に劍戟映畫なりとはいへ失笑を禁じ得ない

腕づく半次

（時代小説・映畫化上演）

中川雨之助　西正世志畫

（一）

三年振り

ある日のこと、半次は、親分の竹の塚安五郎の前に出て、

『藪から棒のやうなお願ですが、どうか、あつしに十日ほど、お暇をおくんなさい』

と、言つた。

安五郎は、氣に入りの子分のことだから、無論厭とは言はなかつた。

『あゝ宜いとも十日は愚か幾日でもかまはねえ。だがだしぬけに、一體どうしたといふんだ。俺は何處かへ遊山旅か。それか湯治にでも出掛けようといふ寸法なのか』

『イエ、なか〳〵、そんな呑氣な話ぢやねえんで、實は久し振に一度、生れ故鄕の飯塚村へ歸つてみたくなりました。序に、おふくろの墓參りもしたい、と思ひましてね』

『うむ、さうか。それは宜い心掛だな、宜いとも行つて來るがいゝ』

『ネエ親分、月日の經つのは早いものですな。あつしが江戸へ來て親分のお世話になつてからもう三年になりますよ』

『さうかなあ。早いものだ』

そこで安五郎は、快く承知の上路銀から旅の支度、何呉となく痒い處へ手の屆くやうな親切を見せ、やがて半次を出立させたのであつた。

それは天保八年の九月の末のことである。

半次の故鄕といふのは、野州寒川郡飯塚村といふ處で、江戸から行くには奧州街道の小山宿から一里半ほど北に這入つた利根川の支流小倉川に臨む僅か百戸に足らぬ寒村であつた。

半次は、江戸から二十三里の道のりを、足達者にまかせて、一ト晩泊りに踏破して二日目の、もう暮近い七刻とき、法師ヶ峠の頂上にまで辿り着いてゐた。

法師ヶ峠といふのは、すぐ眼の下に、飯塚村を見下すことのできる、小さい山越路であつた。

半次はいま、峠の一本松の下に立つて、晩秋の懷かしい故鄕の姿を、遙に見渡しながら、一ト息入れてゐた。

彼は、今年廿八歳の血氣盛りで苦味の走つた好い男であつた。

服裝は、お定まりの手甲脚絆に、菅の小笠、引廻し道中差を腰に差して、キリリとした旅人姿である。

すると、其時。半次と同じ方向からドヤドヤと登つて來た四五人連がある。それは八州代官の手先らしい役人や、目明しの一行であつた。

誰も居ないと思つて登つて來てた頂上に、やくざ風の半次が立つてゐたので、一行の眼はギヨロッと光つたが、その中の、目明しらしい一人が、やがてツカ〳〵と半次のそばへ來て、

『若しや途中で、人相のよくねえ二人づれの男を見かけはしなかつたか』

と、訊いた。

『イエ、一向に存じませんね。何しろ、こんな淋しい裏街道だものですからね』

別に、暗いところが無いので、半次は平氣なものだ。

やがて役人等の一行は、半次を追越して飯塚村の方へ下りて行つた。

夕靄が、そろ〳〵故鄕の空を包み始めてゐた。そして飛々のわら家からは、炊煙が一筋づつ、夕空へ青く溶け込んでゐた。

折柄ゴーンと、鐘が鳴る。村のお寺の鐘樓から流れて來る三年目に聞く鐘の音半次には、それも懷しいものゝ一つであつた。

商況（十九日前場）

海外經濟電報

品目	相場
倫敦金塊	一六八志〇
倫敦銀塊	二〇片八分七
同先物	二〇片六分三
紐育金塊	三五弗〇〇
紐育銀塊	三四仙四分三

▲外國爲替

品目	相場
米英爲替	三弗五一仙四分三
米日爲替	二三弗四七仙
米支爲替	六弗一五仙
英日爲替	一志四片三分五
英支爲替	四片四分一
英佛爲替	一七六法五〇
米獨爲替	四〇仙二〇

▲紐育株式

品目	相場
スチール株	五九弗四分三
アナゴンダ	三〇弗〇〇

▲紐育棉花

限月	相場
現物	一〇仙九六
五月限	一〇仙[illegible]
七月限	一〇仙四六
十月限	一〇仙一六
十二月限	一〇仙〇六
一月限	一〇仙〇〇
三月限	九仙九三

▲印棉

品目	相場
ブローチ	二二五〇留比四分三
オームラ	二三三留比四分三
ベンゴール	一九八留比二分一

各地株式市況

▲東京株式（短期）

銘柄	寄付	大引
[illegible]	[illegible]	[illegible]

▲大阪株式（短期）

銘柄	寄付	大引
[illegible]	[illegible]	[illegible]

▲大連株式（短期）

銘柄	寄付	大引
五品	[illegible]	[illegible]
大新	[illegible]	[illegible]
新東	[illegible]	[illegible]
[illegible]	[illegible]	[illegible]
土木	[illegible]	[illegible]
豆新	[illegible]	[illegible]

各地商品市況

▲大阪綿布

限月	寄付	大引
四月限	[illegible]	[illegible]
五月限	[illegible]	[illegible]
六月限	[illegible]	[illegible]
七月限	[illegible]	[illegible]
八月限	[illegible]	[illegible]
九月限	[illegible]	[illegible]
十月限	[illegible]	[illegible]

▲東京人絹

限月	寄付	大引
當限	—	—

▲大阪棉花

限月	寄付	大引
四月限	七六五〇	—

▲大阪期米

限月	寄付	大引
五月限	七六五〇	七七〇〇
六月限	—	—
七月限	—	—
八月限	—	—
九月限	—	—
十月限	—	—
當限	—	—
中限	—	—
先限	—	—

▲大阪人絹

限月	寄付	大引
當限	—	—
五月限	—	—
六月限	—	—
七月限	—	—

▲横濱生糸

限月	寄付	大引
四月限	一四三二	一四一九
五月限	一四三九	一四三五
六月限	一四四六	一四四四
七月限	一四六一	一四六七
八月限	[illegible]	一四五八
九月限	一四四九	一四五一

九星

土曜　癸巳　先負　除　柳宿

舊三月十三日　四月二十日

東京・本鄕・神誠館

●一白の人　理性を失ひ感情に走りて失費を招く事あり　申と辛と癸が吉

●二黑の人　利慾に眼眩みて情義を失はんとする事あり　丁と亥と癸が吉

●三碧の人　辛勞も雲の霽れたる如く全く散逸して大吉　丁と亥と壬が吉

●四綠の人　次第に活路を見出して良運に惠まるゝ吉日　丙と辛と癸が吉

●五黃の人　心身の勞苦深かるべき日普請造作開店見合　丁と壬と癸が吉

●六白の人　旺盛なる氣運を保てど陷穽に陷らぬ樣注意　辛と壬と癸が吉

●七赤の人　時宜に應じて進退し勢に誇らざるによろし　丁と壬と癸が吉

●八白の人　些細の事にも緻密の考慮を要す輕率は失敗　丁と亥と壬が吉

●九紫の人　一事を守り難く氣移り多く諸事通達せぬ日　卯と丁と丑が吉

新京日日新聞
朝刊
【本紙朝夕刊十二頁】
發行所 新京日日新聞社
發行人 十河榮忠
編輯人 和波煕
印刷人 水越內之介

山西新行動全戰線を席卷

中條山脈に巢喰ふ 敵三萬風前の灯

鐵壁の包圍陣を壓縮

【○○前線基地十九日發國通】十七日西部中條山脈以南茅津、張店鎭以西地區を一擧に席卷し孫蔚如麾下二萬の第四集團軍を隨所に擊滅したわが竹田、久保田、澤幡、廣瀨、重松、松本（總）田中、中島、荒木、松本（庭）長門、田中、長山、大瀧、大坪、此木、河合各部隊は昨十八日息つく間もなく今度は鉾を東方に一轉し垣曲以西の南部中條山脈一帶に巢喰ふ曾萬鍾の第五集團軍麾下七師、十二師、百六十九師、劉茂恩の第十四集團軍麾下六十四師六十五師及び高桂滋の第十七軍麾下八十四師計三萬の敵匪に對し翼城横嶺關方面より進攻中のわが部隊に呼應して猛然攻擊の火蓋を切り茅津東方八キロの西延村古王村附近の堅陣に據れる頑敵を擊破なほも當面の敵を猛攻中で、一方北方からはわが有富、廣中、惠美、江上、小倉、猪飼、武久の各精銳が十七日午前七時攻擊を開始し巨砲の集中砲火をもつて翼城東南方二十キロの坂頭上、店上村前面の既設堅陣を一擧に擊滅更に引續き從來からの主要根據地たる張馬村、中村附近の頑敵に猛攻擊を加へつゝあり、かくして同地區一帶の敵軍は翼城方面より一路南下して更に西方に敵を壓縮中の左翼進攻部隊と茅津方面よりの右翼部隊並に横嶺關附近より疾風の如く垣曲へと南進中の中央進攻部隊により完全に包圍されるに至り、刻一刻鐵壁の包圍陣を押し縮められて今やその殲滅は時間の問題となるに至つた

二萬の敵匪自滅

【○○前線基地十九日發國通】平陸地區敵匪に對する電擊的潰滅戰の結果二萬の孫蔚如軍は全く支離滅裂に陷りかくして茅津南北の線以西には敵の集團的兵力は完全に姿を消すに至つたが、十七日の戰鬪において判明せる戰果は目擊せる遺棄死體のみにても三千十五に達し最小限度に見ても實際數は四千を下らず死傷を合すると六千を超えるものとみられてゐる、なほ西部山西に於ては既に軍渡その主要渡河點をことごとく我が方に占領され南部においては今次作戰の結果茅津、平陸などの渡河點が我が手に歸し更に垣曲の陷落も時間の問題となつた、今日山西省內の敵は今や西部及び南部よりする陝西河南との連絡補給路を完全に絕たれるに至り、その自滅に拍車をかけるに至つた

敵第四集團を殲滅

【中條山脈〇〇〇第一線にて十九日發國通】口もきけぬほどの黃塵の中に峻險中條山脈で展開された第四集團の敵殲滅戰は最近稀に見る壯烈を極めたもので十五日夕刻まで判明した戰果は左の如く莫大なものである

敵遺棄死體 四、五〇〇 捕虜 六〇、鹵獲品の主なるもの 輕機一二、小銃四〇五、同彈藥一二、〇〇〇、追擊砲彈四〇箱、手榴彈二五〇、外套二四〇、軍服二、一〇〇その他多數

天長縣抗日匪 八十名歸順

【上海十九日發國通】江北揚州地區において蠢動中の殘敵はわが木戸部隊の急襲に遭ひ全滅的打擊を受け四散したが敗敵の一部天長縣抗日〇〇隊七十七名は抗日の非を悟り輕機一、小銃五八、同彈藥四、三二七、機銃彈四八を携へて十八日わが木戸部隊に歸順し來つた

わが巨砲陣 敵陣を粉碎

【○○前線十九日發國通】前日に引續き十八日朝來茅津、平陸、陌南鎭の線より巨砲を並べて對岸の要所を猛攻擊中のわが小林（五）井川、石橋、小路、大坪、澁谷、田中、鹽澤の各部隊は夜半に至るも砲擊の手を緩めず、逐次茅津對岸の敵堅陣を打ち碎き壯絕な光景を呈してゐる

黃河對岸の 敵陣を猛攻

【○○前線十九日發國通】茅津以西の大黃河の線に布陣せるわが巨砲群の對岸猛擊は十九日も引續き繼續され拂曉より巨砲の咆哮は四圍を震撼し的確なる命中彈は敵陣並に隴海鐵道を爆碎寸斷してゐるが、この朝山西最南端の要衝風陵渡にあるわが〇〇砲兵部隊も茅津平陸地區のわが巨砲群に相呼應して西北地區の要衝潼關並に隴海鐵道に十字砲火を浴せかけて甚大なる損害を與へてゐる

天長節御祝賀 御儀式御中止 觀兵式も御取止め

【東京發國通】來る廿九日天長節の佳辰は宮中喪の御ため御祝賀の事は一切あらせられず午前十時宮中三殿に於て三條掌典長以下奉仕のもとに天長節祭の儀を行はしめられるが、この日代々木原頭に行幸親しく御閲兵あらせられる御恒例の觀兵式も取止め遊ばされる旨十九日仰出された

歐洲戰 獨海軍機に出動命令下る

全印國民會議派 不服從運動開始 インド獨立の烽火

【ボンベイ十八日發國通】全インド國民會議派運用委員會は去る十五日以來四日間にわたつてガンヂー翁參加のもとに不服從運動に關し協議を重ねたが、十八日大要左の如き決議を採擇し愈よインド獨立運動史に一頁を劃すべき不服從運動を開始することになつた

全インド國民會議派運用委員會はラムガール大會以來情勢の進展を考慮した結果、不服從運動を開始すべき必要を痛感するに至つたものである、運用委員會はガンヂー翁の提議に基き今後は運動實行委員會として活動すべくガンヂー翁の提議した條件の實行を强調するものである、何故なればこれこそ不服從運動展開に本質的な條件であるからである

歐洲視察の土產 星野 鮎川兩氏重要會談

舊臘新京を出發約三ケ月に亘つて獨伊その他歐洲各國を視察歸任の途病を得新京歸着以來面會を避けて只管療養に努めつゝあつた鮎川滿業總裁は十八日梅津軍司令官を訪問歸任の挨拶を述べたが、十九日は午後零時三十五分吉野副總裁と共に星野總務長官を訪問、同二時十分に至るまで約一時間半に亘り重要會談を遂げた

會談の內容に付ては鮎川氏は語るを避けてゐるが推察するに滿獨貿易と滿業その他滿洲國全般の生產力擴充方針との關係、時局下物動計畫が略々決定せる今日、滿業傘下諸會社の運營如何等につき三氏の間に極めて重大なる談合が遂げられたものと察せられる

即ち滿獨貿易に付ては動亂の眞只中にあるドイツとしては食糧、飼料、油脂原料として滿洲よりの大豆の大量輸入を熱望し滿洲國としても獨逸よりの諸機械輸入は、生產力擴充の上に重大なる影響をもつて居る關係上、相互の貿易の將來は兩國に取つて極めて重大なるものがあり、しかも滿獨貿易協定が更改に迫つてゐる事情もあり、鮎川氏の視察ならびに獨逸要路との會談による報告は民間使節としての役割を果したものとされてゐる、一方子會社運營については過般神田企畫處長、靑木金融司長その他の東上によつて本年度の日滿物動、爲替計畫が大略決定を見、それにしたがつて目下滿洲國における計畫が練られつゝあるが、鮎川總裁は渡歐中における國內情勢の推移を聽取、また鮎川氏の視察によつて本年度における資材調達の見透も一段と確實性を增したものと見られ、三氏の談合によつて滿業子會社並びに滿洲國各會社の事業計畫も具體化に向つて一步近づいたものと想像される

三氏の懇談は右のほか國際關係に及び和蘭問題、ルーマニア問題を中心として發展せんとする情勢に處して日滿支の採るべき方策につき眞摯なる意見が交されたものと豫想され極めて注目される

熱誠な歡送 肝に銘ずる 阿部大使の謝辭

【鹿島丸船上十九日發國通】阿部大將を乘せた使節船鹿島丸は十九日午前八時兩岸に堵列せる國民の熱烈なる歡送を受け關門海峽を通過したが、同十時いよいよ日本の領海を離れるに當つて祖國の民に贈へるの辭として左の談話を發表した

今更何もいふことはないが、國を出るに當つて到る所で熱誠な歡送を受け余の任務達成に支援して呉れたことは肝に銘じて忘れられない所である、任地に赴いた上は誠心誠意自分の任務に努力する氣持を益す深くした

日露役の激戰に 御戰功を仰ぐ御勇姿

閑院總長宮殿下 馬上の御銅像を建設 當時の部下本溪湖會員の企て

【釜山發國通】明治卅七年日露戰役の序幕戰たる本溪湖作戰にロシアの大軍を擊破した我騎兵旅團の勇士達が當時の激戰を偲んで組織してゐる本溪湖會ではこれを永久に記念すべく今は參謀總長の重責にあらせられる當時の旅團長閑院宮殿下の馬上御颯爽たる御姿の銅像を當時の戰蹟地に建設することゝなりその銅像の製作を彫塑界の權威帝國藝術院審査員橫江嘉純氏に依賴明年十月十二日の會戰記念日に盛大な除幕式を擧行することになつたのでこの建設敷地、撰文その他打合せのため同會會長三好一、同副會長服部眞彥兩中將は打揃つて十九日釜山上陸『あかつき』で京城に立寄り舊知の南總督と懇談の上同午後八時四十分發列車で渡滿の途についた、當時服部中將は旅團副官、三好中將は中隊長としてともに閑院旅團長宮殿下に隨ひ奉つた少壯士官であつたが、兩將軍は當時を偲び感慨深げに交々左の如く語つた

本溪湖の會戰は日露戰爭の前哨戰ともいふべきもので我々に數十倍する露軍を向ふに廻して作戰に苦心したが、わが軍の戰略圖に當つて僅か三時間で退却したがその後は苦戰の連續であつただけに誠に痛快な戰鬪で當時閑院宮殿下には旅團長から總司令部附に轉補の命令があつた直後であつたが部下との別れを惜まれそのまゝ踏留まつて指揮を持續あらせられたのである、我々部下は殿下のこの尊い御心に感激上下一體となつて戰つたがあの快勝を得た原因と思ふ、今回の御銅像建設の企てには殿下にも御滿足の御模樣に拜するが、これは結成當時の會員千五百人が次々に幽冥境を異にして半數の八百人位になつてしまつた、當時を追想すれば實に感慨無量だ

英伊關係惡化

【ロンドン十八日發國通】イタリーが春季大演習の名のもとにエーゲ海に主力艦及び巡洋艦を集結したとの報道は英伊兩國間の關係が漸次惡化しつゝあることを裏書するものとして當地ではかなりの注目を惹いてゐる、一部ではイタリー最近の反英空氣なるものはムッソリーニ首相が近くチュニス、ニース、コルシカ島その他佛領に對し新たなる準備手段としての威嚇に過ぎないとみてゐるが悲論者側では頻りにイタリーがドイツ側に參戰する可能性ありと今後の推移を重視してゐる

ム首相の命令待つ ＝伊通信、戰備完了を强調＝

【ローマ十九日發國通】バルカンの事態逼迫と共にイタリーの對戰感情が世界の視聽を集めるに至つたが、イタリー政府は最近愈よ積極的に對戰準備に乘り出したもの〻如くイタリー各紙は連日大活躍を續け各軍需工場の寫眞を連載するなど注目される、十八日ステファニ通信社はイタリーの軍備不足のため參戰し得ないとの一部外國紙の流說は妄說に過ぎぬと反駁し更にイタリーの態度を發表した

最近一部外國新聞紙がイタリーは對戰準備の不足その他の理由から戰局の外に止まつてゐるとの風說を流布してゐるが、右風說は何れも取るに足らぬ妄說に過ぎない、イタリーは既にエチオピヤ、スペイン兩戰役を戰ひ拔いて勝利を得て居り、何時でもムッソリーニ首相の命令一下凡ゆる事態に對處すべき用意を有する

ソ聯警備船 日本漁船拿捕 威嚇發砲四隻曳行

ソ聯警備船の第二北洋丸拿捕事件が極めて注目されてゐる折柄十九日又もや朝鮮第一區底曳網組合所屬第十大北鮮丸（九八トン）第十大量丸（四〇トン）春日丸（二九トン）第三進漁丸（四六トン）四隻が拿捕された、即ち十九日午前七時四十二分頃右四隻がウステニヤ灣沖公海で集團作業中突如灰色一本マストのソ聯警備船が襲擊し、まづ威嚇的に機關銃三發を發射して停船を命じた後右四隻を拿捕その儘アメリカ灣方面に曳行したものである

有田聲明に 英下院騷ぐ

【ロンドン十八日發國通】蘭領インドに關する有田外相の聲明は英國朝野に多大の反響を呼んでゐるが十八日の下院においてはこの問題に關する活潑なる質問が展開された、質問應答の大要左の通り

アラン・グラハム議員（保守黨）政府は若し戰禍がオランダに波及した曉には蘭印領海の平和維持を日本に委ねる意思ありや

バトラー次官 政府の聞知せる點よりすれば、日本政府は蘭印領海の平和維持につき日本のみが責任をとるといふが如き何等の要求をもしてゐない、本問題については英國政府は日本政府と同樣の見解を持してゐる

ロバート・モルガン議員（保守黨）政府は將來東洋に戰禍が波及すれば英米兩國政府が對蘭印政策に關し相互協議し合意の上同一政策をとる可能性ありと思惟するや

バトラー次官 英國政府は東洋における共通の利害問題に關しては常に米國政府にこれを通達することとしてゐる、しかし蘭印に關する米國の將來の政策は米國自身が責任をもつて決定すべきである

高文考試の合格者 五月一日發表

高等文官への登龍門高文考試（銓衡）の第二關門「人物考査」は去る二日から二週間にわたり總務廳內で實施され全滿から應募した千十二名（他に二號表適任官三百三十三名）に對し愼重考査を進めてこの程終了、目下各考査委員の手許で採點中だが廿七日ごろ最後的委員會を開催採否を決定し五月一日附政府公報で發表する

ハル長官の 對蘭印聲明 外務省に提出

【ワシントン十八日發國通】ハル國務長官は十八日新聞記者團との會見において十七日蘭印の現狀維持聲明は日本に向け發送したと次の如く語つた

米國政府の蘭印に關する十七日の聲明は東京駐剳米國大使館に宛て電送し右電文を日本外務省に提出するやう指令した、但し現在のところ何らの回答にも接してゐない

なほハル聲明は議會方面では民主、共和兩黨から歡迎されてゐるが、一部議員は右聲明について左の如く說明を要望してゐる

ボーン上院議員（民主黨）今回のハル聲明は日本が蘭印を犯した場合米を戰爭に卷込むものであるかどうか、もし然りとすればこの點に關して明確にされたい

フイッシュ下院議員（共和黨）ハル聲明はモンロー主義をロンドンに及ぼさんとするものであるが、日本が蘭印を犯した場合米國は戰爭に參加しなければならぬといふことを意味するのか

人事往來

▲齋藤惣一氏（日本キリスト教青年會總理事）十九日來京ヤマトホテル
▲小南夫一氏（大連進和商會專務）同ミタニホテル
▲佐藤嘉三郎氏（東京佐藤商店專務）同
▲杉原基氏（大連日本洋紙社員）同大都ホテル
▲松本良雄氏（官吏）同櫻ホテル
▲島田好氏（滿鐵社員）同
▲河野哲夫氏（會社員）同

社説　生活の種々の問題

今日われわれの生活は、非常時の色彩を以て色濃く塗られてゐる。それは今日の時局によつてもたらされた、避けることを得ないところの變貌である。斯うした不可避的な變移のもとにあつて、人々は時に不自由不便を感ずることもあらう。しかしそれは忍ばなければならぬ不自由であり不便である。またそれを不自由、不便としてそれに屈從するのでなしに、われわれの聰明をもつてこれを克服し或ひは代替物を考へて行くといふことも肝要であらう。

今日の産業、經濟の重要な部分は強力な統制の下に置かれてゐる。必要なものを最も效果的に創り出すためであり、無駄を省くためである。しかしその強力な統制の進むところ、おのづから若干の障碍摩擦あることを免れない。また或る場合には、その統制の底を潜り拔道を考へて不當な利益をむさぼらうとするやうなものもないとは言へない。われわれはさうした非違の徒に正當な措置が下されることと思ふが、その前に人人が社會正義に目覺めることによつて自らかかる不正惡を排除するやうになることを望まざるを得ない。

人々の現在に於ける生活と文化との問題を切り離すことは出來ぬ。文化の問題は今日喧しく叫ばれてゐる。或る意味では、戰爭によつて文化といふものが大きな危機にさらされてゐるためにさうした叫びがあがつてゐるのだとも考へられる。これをまた滿洲國について考へるならば、こゝに創造して行く新しい文化の課題といふことが存するのである。この國に於ける諸民族の協力のために、この國の新しい開拓地のために、いろいろと考へらるべきことは多い。われらはこの夏、日本の有數な劇團人が開拓地を訪れ公演する筈であるといふことを聞いた。甚だ結構なことである。ただ望むらくは、ただに開拓地のためのみならず、ひろくこの國に住む全民族のためにさうした事が企てられることである。今年の青年、學生の勤勞奉仕についても、出來るならば文化的な意味のある仕事をやらせたいといふ意向もあると聞いた。これも結構なことである。そして更に、單なる一局地に於いてのみでなく、ひろくこの國の全土の上にさうした企てが實行されるならば、これは尚一層結構なことである。

生活について考へられる問題は數多い。こゝにはたゞその一端を取り上げて見たにとどまる。

滿洲國内在留地　徴兵身體檢査日割

昭和十五年度滿洲國内に於ける在留地徴兵身體檢査の日割は左の如く決定した

△第一檢査班

新京室町尋常高等小學校＝新京首都、新京首都警察廳自五月八日至五月卅日（廿一日間）吉林省＝農安、德惠縣警務科五月卅一日、扶餘縣警務科、公主嶺警察署六月一日、新京首都＝新京首都警察廳自六月二日至六月三日（二日間）（休務日五月十九日、五月廿六日）吉林陽明尋常高等小學校　吉林省＝吉林警察廳自六月六日至六月十日（四日間）敦化縣警務科六月十一日、舒蘭、盤石縣警務科六月十二日、蛟河縣警務科六月十三日（休務日六月九日）哈爾濱商工公會、濱江省＝哈爾濱警察廳自六月十六日至六月廿四日（八日間）安達縣警務科六月廿五日、珠河、呼蘭、肇東縣警務科六月廿六日、双城縣警務科六月廿七日、葦河、阿城、五常縣警務科六月廿八日（休務日六月廿三日）

計三ヶ所、四十四日、休務日四日

△第二檢査班

奉天春日尋常小學校、奉天省＝鐵嶺警察廳五月十一日、奉天警察廳五月十二日、本溪湖警察廳自五月十三日至五月十四日（二日間）奉天警察廳五月十五日、十六日、蘇家屯警察廳五月十七日、新民縣警務科五月十八日、奉天警察廳自五月二十日至五月廿七日（八日間）（休務日五月十九日）安東大和尋常小學校、＝安東省＝鳳凰城警察署、莊河縣警務科五月卅日、安東警察廳自五月卅一日至六月一日（二日間）撫順東七條尋常高等小學校　通化省＝通化縣警務科六月四日、柳河、臨江、輯安縣警務科六月五日、＝奉天省＝淸原、海龍縣警務科六月五日、撫順警察廳自六月七日至六月十二日（六日間）大石橋小學校、奉天省＝大石橋警察署六月十五日、蓋平縣警務科、瓦房店警察署六月十六日、營口警察廳六月十七日、鞍山大宮尋常小學校、奉天省＝遼陽警察廳六月廿日、鞍山警察廳自六月廿一日至六月廿八日（七日間）（休務日六月廿六日）計五ヶ所檢査日三十八日、休務日三日

△第三檢査班

牡丹江日滿軍人會館、牡丹江省＝牡丹江警察廳自五月十一日至五月十五日（五日間）穆稜縣警務科五月十六日、綏陽國境警察隊、東寧國境警察隊自五月十七日至五月十九日（休務日五月廿日）寧安縣警務科自五月廿一日至五月廿七日（六日間）延吉日本人小學校、間島省＝延吉縣警務科五月卅日、汪淸縣警務科五月卅一日、和龍、安圖縣警務科、琿春國境警察隊六月一日（休務日六月三日）

佳木斯公立東南明裏國民優級學校、三江省＝佳木斯警務廳自六月六日至六月七日（二日間）勃利縣警務科、鶴立縣警務科自六月八日至六月十日、湯原、依蘭、通河、富錦縣警務科六月十一日

東安省公署會議室、東安省＝林口縣警務科自六月十四日至六月十五日（二日間）密山國境警察隊自六月十九日至六月廿日（二日間）虎林國境警察隊六月二十一日、寶淸縣警務科六月二十二日（休務日六月十七日）

計五ヶ所、檢査日三十日、休務日三日

△第四檢査班

嫩江三宮部隊＝北安省＝嫩江縣警務科自五月十二日至五月十七日（六日間）海拉爾日本人小學校、興安北省＝滿洲里國境警察隊、海拉爾國境警察隊＝興安東省＝興安東省警務廳自五月廿日至五月廿二日

齊々哈爾宮前日本人尋常高等小學校＝龍江省＝齊々哈爾警察廳自五月廿五日至五月廿八日（四日間）訥河縣警務科、白城縣警務科自五月廿九日至五月卅日、洮南縣警務科＝興安北省＝海拉爾國境警察隊＝興安東省＝喜扎[illegible]旗警務科＝興安南省＝興安南省警務廳五月卅一日（休務日五月廿三日）鐵驪訓練所、部隊＝北安省＝鐵驪縣警務科自六月四日至六月七日（四日間）慶城綏河縣警務科六月八日北安佐久間部隊、北安省＝海倫、克山、綏稜縣警務科六月十二日、北安縣警務科六月十三日、通化縣警務科六月十四日（休務日六月十日）＝孫呉特校集會所、黑河省＝孫呉國境警察廳自六月十七日至六月十八日（二日間）黑河省警務廳自六月十九日至六月廿一日（三日間）

計六ヶ所、檢査日二十九日、休務日二日

△第五檢査班

四平街尋常高等小學校、＝興安南省＝通遼縣警務科＝奉天省＝開原警察署、西安縣警務科六月十四日四平街警察廳自六月十五日至六月十七日（二日間）錦州中學校、錦州省＝錦西、綏中縣、吐默特右旗縣、吐默特中旗警務科六月二十一日、彰武縣警務科＝興安西省＝開魯、興安西省警務廳、林西縣警務科六月二十二日＝錦州省＝錦州警察廳、錦州警察廳、阜新警察廳、凌源警察署自六月二十三日至六月廿五日、承德警察廳翁牛特右旗警務科六月廿六日

計二ヶ所、檢査日十一日

△第六檢査班

大連第二中學校、關東州＝大連小崗子警察署自五月六日至五月八日（三日間）大連甘井子警察署旅順、普蘭店警察署自五月九日至五月十日、貔子窩金州警察署、大連沙河口警察署自五月十一日至五月十四日（三日間）大連大廣場警察署自五月十五日至五月二十七日（十二日間）（休務日五月十九日）計一ヶ所、檢査日二十一日、休務日一日

△第七檢査班

奉天春日尋常小學校、奉天省＝奉天警察廳自五月卅日至六月十一日（休務日六月九日）

計一ヶ所、檢査日十二日、休務日一日

合計二十三ヶ所、百八十五日、休務日十四日

立體作戰の巧緻
山西電擊新作戰の大戰果
歩砲空一體

【〇〇基地十九日發國通】十七日拂曉行動を起してより僅か一日、西部中條山脈以南より黄河の線に至る張店鎭茅津以西の地區を瞬く間に席捲して孫蔚如麾下二萬の第四集團に全滅的大打擊を與へたわが精鋭の疾風迅雷的電擊作戰は既に多大の戰果を收めたが、これは實に歩砲空三者一體となつた巧緻極まる立體戰の結果である

この日陸鷲山口部隊の精鋭〇〇機は朝霧を衝いて出動、一部は荒木、大瀧兩部隊に協力、主力は竹田、重松、小林（五）の各部隊に協力しその前面據點たる大盡村、檜樹灣等の堅陣に據る頑敵獨立第四十七旅、獨立第四十六旅、第百十七師を猛爆し敵の連續陣地を爆碎すると共に果敢なる低空掃射をもつて逃げ惑ふ敵を潰滅、これに呼應しわが精鋭は雪崩の如く猛進擊を開始し敵が不拔を誇るこれら堅陣を瞬間に蹂躙突破して一氣に黄河の線に進出、茅津を手中に收めたもので、これより先わが陸鷲群は茅津附近に繋留中の渡船數十隻を爆碎し敵の渡河退却を不可能ならしめたため同地附近の敵は殲滅的大打擊を受けたのである、砲兵を代行する陸鷲群の活躍、これと緊密に呼應する地上部隊の進擊に引續きわが巨砲部隊は平陸、陌南鎭を繋ぐ黄河河岸に放列を布いて大黄河越に對岸の要衝及び隴海鐵道に巨彈を集中、完全に敵の輸送補給路を粉碎し空歩砲三者協力の成果は遺憾なく發揮され僅か一日にして二萬の敵軍を潰滅し稀に見る大戰果を收めたのである

これにより敵晋南交通網やわが後方攪亂企圖は完膚なきまでに擊碎されたのみならず黄河兩岸の輸送路遮斷のため敵は山西省内への軍隊及び物資の輸送補給は全く不可能となりこゝに省内各地に蠢動を續ける敵匪は完全に孤立に陷つて自滅の一途を辿ることとなり、しかもわが軍の軒昂たる意氣は常に黄河渡河の脅威を與へつゝあり西北地區の敵陣營の動搖甚だしきものありとみらる、尚孫蔚如軍は過去において數次の討伐を受け慘敗を喫したにも拘らず又も蔣の嚴命により山西省内攪亂を圖つたものであるが、今回の打擊により全く潰滅しさりその回復の見込み殆ど無き狀態となつた

日佛貿易諒解　一ヶ月延期

【東京發國通】日佛貿易諒解は本年三月十五日期限滿了となつたので暫定的に一ヶ月間適用して、その間新貿易諒解の成立につき兩國政府間に折衝を重ねたが延長一ヶ月後の十五日に至るも新貿易諒解成立を見るに至らなかつたので、兩國政府當局打合せの結果、十八日に至り更に右貿易諒解を來月十五日まで一ヶ月延長することになつた

文化を阻む闇取引
印刷用紙暴騰に悲鳴

北中支の急激なる需要の增加は大陸向け用紙の制限により最近滿洲に於ける紙價暴騰は著しきものあり、平價の三倍、四倍の闇相場が出現し、不良ブローカーの横行甚しく、このまゝに放置する時は何處まで紙價の昂騰を見るや計り知れず、王子製紙より直接配給を受ける弘報協會關係の出版印刷會社等では現狀を維持できるが、民間小出版業者、印刷業者は營業不可能となる虞れがあり、出版協會の設立機關雜誌を統合、其他書籍配給會社の設立など用紙制限對策として滿洲出版事業の合理化を圖りつゝある當局では、最も緊急を要する紙の公定價格及び配給の統制を考慮せず、このまゝまで放置する事は發展途上にある滿洲文化の一大部門たる印刷出版文化の振興を阻む憂慮すべき問題であるとなし、當局の拱手傍觀を非難する聲が全滿各地に昂まつてゐる、用紙の闇取引による出版印刷業者への影響は以外に大きく、その實情は次の如きものがある

一、定價賣月刊雜誌などは定價賣實施不可能となり雜誌の刊行を續ける時は損失を見越して行はねばならず、泣寢入りの狀態である

二、一部の用紙業者、ブローカーの買溜め賣惜しみの結果、紙の入手困難となり、また入手せんとする時は闇相場により出版印刷の成算が成立たず全滿各地の小中出版印刷業者は休業のやむなきに至る者續出、各地に印刷所の賣物が出現してゐる

三、或る滿字新聞は發行不能となり、當局へ配給斡旋方を陳情し窮狀を訴へてゐる

今樣花咲部隊
銅古錢三千貫發掘

【南昌十八日發國通】新東亞建設の豊かなる大陸の春にこれは又朗らかな「花咲部隊」が中支戰線に現れた〇〇部隊の仁科部隊長は二月の討匪行で五つの石炭山を發見意氣揚々と基地に引揚げ、それから一日ほど經つて今度は支那軍が隱してゐた飛行機を發掘したが、最近またまた大當に〇〇縣の一角で土地の豪族が滅されたとき澤山の財寶を埋めたことがあるといふ情報が舞込んだ隊長以下が現地に赴き示された場所を掘ると銅古錢が二坪ほどの廣さに二尺の深さでざくざく出てきた、勘定すると珍しい元祐通寶、政和通寶等十數種の古代通貨で重さにして約三千貫、骨董價値はおそらく數百萬圓に上らうといふ貴重な出土品だ

輕金屬工場
大東港に新設
資材割當見透つく

滿洲輕金屬のアルミニウム製造は撫順に於ける擴張設備が五月一杯を以て完成する運びであるが一方大東港に於ける工場の新設が物動計畫に依る資材手當問題から本年度着手如何を注目されてゐたところ今般の物動計畫に關する日滿間折衝の結果本年度より着手を見ることゝなつた

同工場の建設問題に付ては昨年秋東京に於て開催された日滿支經濟懇談會に於て日本側に於て滿洲に於けるアルミニウム製造事業の重要性を認めて充分の資材を割當すべきことを約束したので滿洲輕金屬では大東港の臨港工場豫定地に廣大な敷地を購入し親會社滿業と密接なる連絡の下に社宅その他用意萬端を進めつつあつたものであるが去る二月神田企畫處長、松田經濟部次長等東上しての日滿間物動計畫折衝の際は資材の割當に付て日本側に於て相當の難色を見せたので滿洲輕金屬では事業の重要性と曩の約束よりして是非とも本年度着手すべく今回神田企畫處長等の東上に當つて相當強硬に申出づるところあつた

今回の日滿間物動折衝の結果は現下に於ける輕金屬事業の重要性に鑑み大東港工場は兎に角本年度着手することに決定を見たが資材に付ては日滿間の振合ひを見ることゝなつて居り豫定計畫に對して或る程度の變更は見るかも知れないと想像される

上海對外貿易
三月中輸出入增加

【上海十九日發國通】海關發表　三月中の上海港對外貿易は輸入六千三百七十九萬六千元輸出七千六百五十萬七千元で輸出入共前月に比し增加したが、前月に引續き輸入の增加が著しかつた

輸入が前月に比し約四割を增加したのに對し輸出の增加率は僅か五分程度に止まつた、この結果貿易尻は海關統計においては二月の出超二千七百卅七萬三千元から三月には一千二百七十三萬一千元の出超となつた法幣爲替實際相場からすれば輸入は二月の一億六千百五萬三千元に對し三月は二億四千六百卅八萬三千元で結局入超額は二月の八千八百十二萬一千元から三月には一億五千九百八十五萬六千元に增加昨年春以來の多額を示した、輸入は引續き各品目にわたり增加したが、特に棉花、砂糖ならびに佛印およびタイ國からの米の輸入增加が目立ち、また金屬類の輸入が四百六十七萬七千元と二月の三倍、一月の二倍に增加したのも注目されたが、その大部分は米國からの鐵鋼類輸入激增に基くものである

一方輸出は各品とも概して減少歩調を辿り就中一月に地場紡績筋の手持品のインドおよび南洋向け轉賣に伴つて異常な活況を呈した綿製品の輸出が目立つて減少した

協和會首都　本部分會長

協和會首都本部ではこの程分會長の更迭を行つたが、新任分會長は左の通り

首都永春路分會長　辻　龍次郎
同自強街分會長　杉田　一郎
同北安路分會長　石橋　米一
同豐樂路分會長　田中　總吉
同興安大路分會長　新井　練三
同南新京分會長　平井　淸
同櫻木分會長　友谷　英造
同天寶街分會長　春山　暢良
同義和路分會長　掘　繁藏
同住吉分會長　野村　政武
同東新京鐵北分會長　柴山　萬事

伊藤公使滿洲里通過　訪伊使節團顧問伊藤述史公使小川書記官並びに訪日ドイツ經濟使節團長ヘルフェリツヘ氏は十八日午後八時半發のモロトフ鐵道で滿洲里出發歐洲に赴いた

中銀帳尻

十七日の中銀帳尻左の如し（單位千圓）

紙幣	六〇三、一〇二
鑄貨	三六、一九九
預金	四二二、〇九一
貸出	九一二、五九一

商況　十九日後場

各地株式市況

●大連株式（短期）　寄付　大引

銘柄	寄付	大引
五品	[illegible]	[illegible]
大東	[illegible]	[illegible]
新紡	[illegible]	[illegible]
[illegible]	[illegible]	[illegible]
[illegible]	[illegible]	[illegible]
[illegible]	[illegible]	[illegible]
土木	[illegible]	[illegible]

●奉天株式（短期）　寄付　大引

銘柄	寄付	大引
新東	[illegible]	[illegible]
滿業	[illegible]	[illegible]
[illegible]	[illegible]	[illegible]
[illegible]	[illegible]	[illegible]
同新	[illegible]	[illegible]
[illegible]	[illegible]	[illegible]

手形交換高（十九日）　二一六枚　[illegible]錢

春の球座めぐり（5）
小粒ながら精鋭　狙ふ連覇の意氣
昨年の覇者電業軍

さて最後は昨年の覇者電業チームである、輝く戰績を殘して兵役に就いた有村、竹内のバッテリー、昨年度のリーディングヒッター賞をバットで打出した大谷二壘手を始め西川投手、吉井捕手、貞池二壘手、内山、林、黑明の外野手等を失つたこのチームは如何なる新顔を入れて陣容を整備したか、これらを見やうと都の南をそのまゝに命名した電業村都南寮の裏にあるグラウンドに車を走らせた、一日の業務から解放された若人達がテニスを、ラグビーを或は軟式野球を快く樂しんでゐる、完備した設備を持つた廣大なこの運動場の一角に野球グラウンドがあつて連覇目指すナインが猛練習をしてゐる

若い人達の集りですから試合馴れしてゐませんからね、敵は何しろ鬪えた老巧揃ひばかりですから試合を運ぶのに妙を得てゐるますから太刀打ちが難しいです、まあ全力を盡してやりませう

一應は謙遜して他のチームを賞める所中々の名監督ぶりである

□　□

主將の位置を今年からこれも電業ファンに取つてお馴染みの宍戸一壘手に讓つて監督となつた名三壘手杉田選手に「どうです勿論連覇といふ所でせう」と問ふと

いやあ、野球だけはやつて見ないとわかりませんからね、どうも今年は一體に選手の粒が小さい樣でこの點が心配ですよ、

□　□

有村無き投手陣を守るは誰か、立教出身の小山、宮崎京都帝大出身の福村の三新人に昨年よりお馴染みの長谷川、箸野の兩人が加はつてのがつちりしたスタラムに投手陣は微動もしない、小山投手は立教にあつてはどちらかと言ふと蔭の人であつたが忘れてはならない存在であつた

一昨年立教の近來にない不振に際していさゝか腐り氣味であつたが、昨年は猛然と元氣を出し、一軍の中心としてベンチに在つて指揮命令ばかりか時にはプレートに立つて第一線を承はるといふ活躍振りを示したことは大いに特記されてよい、殊に各大學前哨戰のには必ずネット裏に現はれてスコアをつけ、立教の作戰に寄與するところ大であつた、その飄々乎とした風格の持ち味は必ずや國都ファンから拍手を送られるであらう

□　□

福村投手と共に寫眞を撮らうとして「なるべく仲の良い樣にして下さい」と註文をつけると「所が仲が好過ぎる位なんだよ」と御兩人並んでくれた、既にこの心の協力あり、試合には相扶けてよき結實を見せるであらう、所で片一方の福村投手であるが、この人は昨年秋のシーズンに關西六大學野球で京大を優勝させた殊勳の人、守つてはよく投げ攻めてはよく打ち昨年秋の打擊率は打數卅三に對し安打十二で〇・三六四を示しベストテン中の第二位を占めてゐる

□　□

さて投手陣以外の新人を紹介しよう、東海の名門愛知商業から山内捕手と松本一壘手の兩人、高知商業出身の大西二壘手、鹿兒島商業出身の井上遊擊、小倉工業出身の一尾外野手、丸龜商業出身の橋本外野手（この人は廣島鐵道局にしばらく籍を置いた）倉敷商業出身の西外野手と妙に山陽、四國、九州と地理的に近い所が顏を揃へてゐる、これらの新人に加へて舊人また腕を大いに磨いて宍戸新主將の下に一糸亂れざる陣立である

□　□

都南寮のどの窓からか樂器を手すさぶ音が洩れてくる、あちらこちらの窓が開いて我等のチーム如何にと練習を見まもる顏がのぞいてゐる、これらの社員の人々と共に電業チームの輝かしき連覇を祈つて歸途についた

待たるゝ大會は愈よあす廿一日に迫つた、晴れの覇者となるは電業か、電々か、滿倶か、はた又滿洲國か、興味は興味を生んで滿都ファンの話題を賑はせてゐる、その話題に華を添へるものとして人氣を煽つてゐる「優勝チームは何處か」「個人最優秀打者は誰か」の豫想投票締切はけふ廿日限りである、この二つの？に讀者よ、心躍らせて投票を送られよと喚んでこの春の球座めぐりの筆をおかう

【寫眞】（上）向つて右より前列一尾、橋本、大西、後列西、松本、井上、山内の七新人（下）向つて右より小山、福村の兩投手

家庭

生めよ殖やせよ 名案の子寶賞 今秋から愈よ實施

生めよ殖やせと厚生省は鳴物入りで宣傳これ努めてゐる人的資源の寶物赤ちやん、坊や達を立派に育てあげたお母さん、お父さんを表彰する厚生省の名案子寶賞が八萬二千圓の經費で愈よ來年秋から實施されることゝなつた

厚生省のヒツト

(さ)てこの表彰される子寶家庭にも多種多様あるのでどの程度の標準にするかが問題となるので標準を決定するのに厚生省は目下係員が頭をひねつてゐるが、この程その輪廓が出來上つて、興亞子寶賞の最後的決定次第直ちに全國各地方廳に通牒し地方長官よりの内申を求め遲くともこの秋までには實情傳達が行はれることゝなつた、その標準なるものは第一の條件として

六歳以上の子女十人以上の子福者でなければならぬは勿論であるが、たゞ子供が澤山といふだけではなく、この子供を立派に育成した優良家庭であることが必須條件で

この内前科があつたり病死、病弱者があつては失格者となる、又私生兒は其の數に入らない、但し養子その他の事情で他家にある者はその資格が控除される事となつてゐるその他少年保護院に入つて居る子供のある場合は大體失格の模樣である

(唯)戰死者は名譽の子供の家として數へることは勿論であるが、要するに一般世間より非難のない家庭の中より選定の方針であると云ふことが當局の氣構へで形式よりも内容に立脚して居ることが注目される、これら名譽の家庭は嚴選の結果圏内に入る全國の各家庭は約二萬家庭に及ぶものと推算されてゐる、これらの家庭に對しては銀或はアルマイト製の賞牌及び大臣の賞狀、それに愛國公債などが授與される

天然痘絶滅に協力しませう 大久保防疫股長談

市民に告ぐ (4)

上記の發疹は間もなく水疱に變りその水泡は豌豆大にて内に稍溷濁し其の頂點に窪みを作ります、この窪みを痘臍と稱し、此の水疱期は約三日位にして次の膿疱期に移ります、膿疱期は第九病日頃より始まり第十一病日頃に於て極期に達します此の頃は眼瞼閉鎖し口は腫脹し膿汁は外聽道を塞ぎ、痂皮は鼻道を閉ぢ容貌は全く變化します、又手足は垂れ手掌、足蹠は緊張、疼痛があります、次は恢復期となり第十二病日化膿熱の減退する時よりはじまり膿疱の内容は濃厚となり膿疱の頂點は一層陷沒し次で褐色の痂皮は結び腫れは減退し顔面の輪廓は漸次平常に復し、又痂皮は日を追ふて脱落を始め四、五週間後には全く之を了ります結痂、落屑に際しては患者は非常に搔痒を訴へることが多く、落屑を了したる皮膚は暗紅色豌豆大の色素狀を殘すも數月にして漸次消失するのが、時には永く白き瘢痕を留めることが多い「あばた」が即ち之であります

康德六年痘瘡患者年齢別發生死亡及性別表

年齢別	男	女	計	發生對死亡%
一歳以上五歳迄	三	九5	一二5	三八・五
六歳―十歳	一	一	二	
十一歳―十五歳	一	一1	二1	五〇・〇
十六歳―二十歳	五2		五2	四〇・〇
二十一歳―二十五歳	三	二	五	
二十六歳―三十歳	八	三	一一	
三十一歳―三十五歳	一〇4	二	一二4	三三・三
三十六歳―四十歳	二	一	三	
四十一歳―四十五歳	二1	一	三1	三三・三
四十六歳―五十歳	二	一	三	
五十一歳―五十五歳				
五十六歳―六十歳				
六十一歳―六十五歳	二	一	三	
六十六歳以上				
計	三八7	二三6	六一10	二一・三

アラビヤ數字は死亡數を示す

(五)假痘、假痘とは輕症痘瘡のことであつて、種痘を受けた者に發することが多く未種痘に來ることは殆ど稀で未種痘者に來るのには普通眞痘と稱しほんたうの痘瘡であります

(六)一般の判斷上の參考事項を左に列擧す

(イ)第一病日に發熱、前驅疹を見、第四病日は急に解熱すること

(ロ)劇烈なる腰痛あること

(ハ)特有の前驅疹を存すること

(ニ)發疹の特異即ち第四病日に於て全身に發し圓形で痘臍があること

(ホ)發疹部位は顔面に多く頭髮部に少く自體の外側に多く内側に少し又腋窩及び腹部等に少く末梢の露出部に多きこと等があります

(七)豫防法

(1)初生兒は成るべく早く種痘を受け、又定期は勿論一年隔位に臨時種痘を受けること(終)

食物と榮養 昆布や大根卸

【昆布】=人體の發育に必要な沃度が多く動脈硬化症の豫防に特に効果がありますが、消化は不良です主な產地は北海道の網走です

【大豆】=蛋白質が主位を占め、糖分を消化するビタミンBも少くありません但し煮汁を捨てない事

【大根切干】=あの甘味はブドウ糖、また調味品としてもよろしい

【大根卸】=これは消化を助ける成分ヂヤスターゼが多く、ビタミンCの多いことも野菜類の少い際とて天の惠みです

毎日魚が空の旅 阿部大使へ食膳通ひ

【福岡發】一億國民の要望を擔つて愈よ十八日南京に鹿島立つた阿部大使に日々充分なるカロリーを供給して大任を果して貰ふ特別編成の料理全權團が滲支したが、更に大使以下の隨員にも同様舌づつみを打たせ檢討して貰ふため鮮魚が飛行機に乘つて南京に飛ぶことになつた

大阪の魚市場は十八日から毎日早曉獲りたての魚約十五キロ(四貫)を南京まで定期便で送ると言ふのがそれで瀨戸内海を始め近海で獲れた海の幸を午前六時廿分大阪發の定期便にかつぎ込み福岡で中繼、東支那海を空から渡つて午後四時半には南京に到着、そこで直ちに待ちかまへた板前の手で料理され阿部さん以下隨員の夕食の膳に上つて内地の香りを滿喫、舌づつみを打たさうと言ふ譯で敗殘事件の二の舞を企てやうとしても愈よ手も足も出せない【寫眞は阿部大使】

植樹節の由來

(昔)から各國には種々の記念植樹があるが、その最も古いのは恐らくペルシヤ人の結婚記念植樹であらうペルシヤは往時盛んであつた時代には今のやうな沙漠ではなくて美しい森林國であつた

昔のペルシヤ人は植樹を好み植樹の濫觴は實にペルシヤ人にあると謂はれペルシヤの一民族マーデーの國では平地に生籬のやうに樹木を密植したと傳へられてゐる、又中央アジアの蒙古人種は今でも許嫁の花婿は結婚式を擧げる前に百本の果樹を植ゑる習慣があつてこの國の山地には實の成る樹木の大森林があると云ふ

(ア)メリカではかの植樹祭の父と稱せられるモルトン知事は木のないネブラスカ州に一八七二年から植樹祭を創め、合衆國四十八州ではこのモルトン知事の誕生日たる四月二十二日を植樹祭と定め大體この日を標準に植樹を實行し、又愛林愛樹の思想を普及することに努めてゐる

(滿)洲及び支那でも昔から植樹節は清明節に行つてをりこの日と前後して農家では春耕行事の業務に取りかゝるを常とした、例へば麥蒔は清明前後とか高粱は穀雨前後とか言ふ風に南滿方面では清明に植樹をなすものとしてあり、氣象知識に乏しい農民にはこの節日が標準となつてゐた

樹を植ゑたり挿したりすることを初めたのは漢朝時代からとしてある、當時祖先の墓前に樹枝や花を供したものが芽を出し或は根を出し、年々繁植したところから植樹に關心を持ち、それ以來植樹を行つたと謂はれる、その後植樹思想が徐々に發達し、綠地を作ることを或る地方では踏青會と名づけて清明と關聯した句節としてゐる處がある

(民)國の四年に清明を植樹節としたが、孫中山が生前造林や綠化運動に力を注ぎ、全國にこれを提唱したため彼の逝去日三月十二日を記念して植樹節としてゐたが、勿論無いよりはましだと云ふ程度で實效は少かつたのである

滿洲國建國後これを改めて穀雨日を植樹節と定め毎年四月二十日前後にこの行事を行ふことになつてゐるが、今年はこれで帝政實施記念第七回目の植樹節である、綠化に最も大切なことは愛樹であり、如何に植樹しても愛護せねば意味をなさない「國民の樹木は國民の手で」のモットーから愛樹を國民の公德の一つとせねばならない

早春を謳歌 (六)

ふくらむ楊柳に早春の琴を奏で我が世の春を讃へる

麗かな王道の慈光に凍結の水溫み水禽は日露娘の口ずさむ協和のリズムに乘つて澄んだ水面にゆるやかな波紋を畫き、南風にふ

家庭メモ 石鹸の代用品

▼『窮すれば通ず』でドイツでは日用品の統制で、家庭婦人はなかなか苦勞してゐますが、石鹸不足對策から次のやうな洗濯法も考へられてゐます、皆さんも一度なさつてごらんなさい

▼馬鈴薯の皮をとつておき、長時間浸しておいた水を使用すると石鹸などは使はなくても、あまり濃色のものでない限り、キレイに落ちます

▼葛の葉を水一リットルにつき十五グラムの割で入れ、これは十五分間煮沸すれば、靴下、手袋、セーターなどの毛物には特によい結果を得られます

身の上相談 結婚岐路に立つ 淋しき廿三の女

解答 大川浩

問 私は一昨年の秋單身渡滿した今年二十三になる女でございます、十九の年から縁談ばかり持出されて困つて居ります、母親は幼馴染みの岡村隆志と結婚する事を願つて居るのです、その方とは一昨年の暮まで淸い交際をしてをりました、一昨年の暮に病氣になり相當の金を使つてしまひました、その病氣の時伯母と喧嘩した爲め故鄕の方に云ふのは何んとなく氣がひけて岡村へ金の無心をしました

申し遲れましたが岡村は滿洲で七年前から活動してゐるのです、私を滿洲へやつたのも母がお互を思つてやつたのです處が先程の病氣の爲に入院して居りました時に返事の來るのを今日か明日かと一日千秋の思ひで待ち焦がれてゐましたが何の音沙汰もありませんので心變りしたものだと思ひ身寄りのない私は退院後の生活にも窮して來ましたのでたうとう世間の人に輕ベツされるカフエーに飛び込んでまだ足腰の充分でない體で夜は女給、晝は病院通ひをして苦しい日を送つてゐました突然岡村から「君は歸國した方がよい」といふ意外の手紙を受取りましたので益す疑は深くなり手紙なぞ出す氣にはなりませんでしたその後、その方からも何の便りもなく音信不通となりました、數ケ月の後故鄕から岡村が急に內地に歸り、見知らぬ女が岡村を訪問したといふ便りがありましたが田舍の事ゆゑ私と婚約してゐるといふ噂が立つてゐるのでその女が男を尋ねるといふ事は私達の結婚は破綻したものと思はれ

私も今日迄純情を捧げて來たのにア、今はじめてあの男に騙されたかと思へば口惜しくてくたまらず怨んでも怨みたりない否殺してやりたい氣持さへ致しましたそれでもまだ總てを信ずることが出來ませんした、幾十日か過ぎて餘り私が勝氣なもので感情に走つてゐた事に氣付き冷靜になつて考へ直せば自分の誤解であつたとも思ひ恥かしくなり詫狀も四五本出しましたが今日まで何の便りもありません

悲歎の淚に暮れてゐる矢先に心から私を慰めてくれた極めのは青木といふ人です、此の方から種々同情され結婚の話まで進行しましたが女給生活をして來た自分として此際遠慮すべきでせうかそれとも積極的に進むべきでせうか現在の私はどの樣に進んだ方が好いでせうか此際私のよき道を何卒お敎へ下さいませまた外に幸福になる道があるものでせうか御願ひします(岐路に立つ女)

自からを卑下せず 眞心から愛する人の許へ

答 世の中は嘘と眞實の綾織です其の中に眞實の嘘もあれば嘘の嘘もある、眞實であるのに嘘と解釋して勝手に憤慨する事もあるし色々です、自分としては一生懸命努力しても相手を動かす事が出來なかつたり或は豫想以外に相手が感動したりして面喰ふ事がありますね貴方の御相談の趣旨が少し不明な點もありますが要するに現在の職業に從事してる事を恥ぢてる點が見取れます職業は神聖なものですから恥ぢる必要はありません、公然と社會が必要とすればこそ生れた職業なのですから、然し過去の人が其の職業を惡用した方があるので惡いものとされて居るのです職業其自體は決して惡くはないのです、御安心なさい過去は問はず現在の貴方に眞意から愛して下さる方がありますならば愛の終結の爲めに早く現在の職業を辭めて主婦としての學問をすべきです

職業に依つて自己を卑下してはなりません、堂々と生きて行く可きです、殊に現在の貴方の求愛者は貴方の職業を理解されての上でせうから、卑下した氣持が若し消えないとすれば目下の職業を止むを得ずやつてる間絶對に結婚と云ふ女性本來の生活樣式に入る事を許されない事となりますから生きる爲めに取つた唯一の手段である現在の職業は貴方に依つて聖いものなのです、唯是非考へて貰ひたい事は女給延長の主婦とならぬ事

女給生活と云ふものと一家の主婦と云ふものは根本的に違ひます、女給生活の隋性が家を持つてからも表はれるか否かが懸つてゐる幸不幸の分岐點ですから問題は此れです

春は薫風に乘つて 演員の臨時ロケ

春が來て樹木の芽が日増しにふくらんで行く樣に乙女の胸の中にもそつと春が忍び込む、春は女と共に、さてその春の日を滿映の女演員さんと尋ねて歩いたある土曜日の午後の日記である【寫眞は王さん（左）と馬さん】

女三人寄れば何んとやら

（あ）ちら通るはスターぢやないか、黒い眼鏡が氣にかゝる……と歌にもある樣に滿映のメイウエスト肉感的スター王麗君君ではないか

王麗君孃は小粋な黒眼鏡をかけ、ミス・新京の馬黛娟孃は素足に眞ッ赤なストッキング、北京娘の張氷琳は綠の帽子と綠のスプリングコートと言ふいでたち……さてスターは揃つた、ところで此のスター達もやはり女である、女三人寄れば何んとやらで道々おしやべりに忙がしい

▼ミス・新京「あたし木登りしたいわ、ねえ登らうかしら、中々いゝ枝ぶりよ」

▼張氷琳「お止しなさいよお里が判るわよ」

▼ミス・新京「だつて子供の時、妾よく登つたものよ」

▼王麗君「あたしいやよ、下から覗かれたし困るんですもの」

搖語でよく判らないがざつとこんな調子であらう

張氷琳は北京娘

なので乙にすまし返つてゐるがミス・新京馬黛娟は實に人懐ッこい女である、誰とでも無邪氣に笑ひさゞめき合ふ、顔は木登りしたがる樣にお猿さんみたいにくちやくちやとした顔だが、先づこの女は生のまゝを映畫に出せれば相當な人氣者になるだらう、氣のよいこと無類である

王麗君は流石に一行中のスターである、日本語も上手、愛嬌も良し、メイ・ウエスト的な肉體美は常に身邊に春風を漂はせてゐる、清眞寺や寫眞を撮る

"時ならぬエキストラ"

新入りのミス・新京孃など既にそのポーズに於て一人前の女優さんと言つてよろしい、寫眞をパチ〳〵やつてゐると彌次馬が一杯集つてくる、子供も大人も一生懸命に此の美女達に見惚れてゐる、風がかなり強いのでスカートがまくれ上る

それでもぢつと見つめてゐる、あんまり滿人の子供達が見とれてゐるので少々こはくなつた感じで「どうしたい坊や」と聞くとませたのが「あゝ初戀ッて此んなものかしら……」とは言はなかつたが兎に角「あの綺麗なのが王麗君だ」なぞと知つてゐるのがゐるから恐れ入る

歸りに王麗君は子供達に取り捲かれてサインを強ひられてゐる、あゝワシ等の子供時代は唯遠くの方で「早く大人になつてあゝ云ふ綺麗なお姉ちやん達と遊びたいものだ」と切なく吐息をしたものだが滿洲人の子供達は誠に達者なものである

子供心にも無意識に一行中の花形王麗君に慕はしい感情を寄せてゐるに相違ない

お見事な肉體美

王麗君と言ふのは實にそれ程容貌と云ひ肉體と言ひ素晴しい女優さんである「國境の花」で主演してゐたが

その後ぐん〳〵のし出すであらう、次は大同公園へ…撮影開始となるとおめかしに忙がしい、金平糖みたいな駄菓子を買つて來てやると子供の樣に喜んで食べ出す、スターとは言ひ乍らまるで子供の樣に他愛がない、つんとしてあまり人に馴染まない北京娘の張氷淋すらそれである

撮影が終る度にワンラ（完了）ワンラと云ひ乍ら金平糖を放り込んでゐる圖は微笑ましいもので、カメラを向けると自分で「ヨーイ」「ヨイデスヨ」「O・K」なぞと片言の日本語で冗談をペチヤクチヤ、兎に角王麗君と言ひ馬黛娟と言ひ非常に可愛いんである、先刻から歸りたがつてゐた張氷淋が「サミイですよ」と言つたので、滿映の秘藏娘達に春の風を引かせてもと完了にする

張氷琳と言ふのはをかしな娘で最後に一行中の人が王麗君と寫眞を撮らうとすると眞顔になつて「いかん〳〵」と言ふ、馬黛娟が「兄妹見たい」と愛想を言ふとその方をぐつと睨みつける、戯れに「戀人同志見たいだろ」と言ふと當の王麗君は面白さうに笑つてゐたが張氷淋にはにべもなく「髭を剃つたらどう」と完全にいかれてしまつた、北京娘の矜恃たるや誠に恐るべしと言ふ處であらう

ガンヂー翁映畫に出演 一萬二千呎の長尺もの

ガンヂー翁は去る三月十六日ラムガールに開催された印度國民大會に出席、印度の即時獨立の爲め敢然邁進する旨の決意を表明したが翁は右會議終了後映畫「聖雄マハトマ・ガンヂー」に自ら主役をつとめた

先づ辯護士として虐げられつゝある同胞のため、青春の血潮をたぎらせてゐる南阿に於ける若き日の彼が大寫しにされてゐるが、同映畫中の壓卷はなんと云つてもチャップリンとの會見のところであると云はれる

同映畫は一萬二千呎の長さに達する模樣であるが、完成次第ルーズヴエルト大統領に進呈のため、空路ワシントンに輸送されることになつてゐる、因みに同映畫は二十一ヶ國版がつくられ印度と外國で同時上映される筈である

ボール・ルーム

▼…扇芳會館へ行く階段を上つてゆくと二階の所に國通寫眞ニュースがあるのだがこゝに陳列してある寫眞が半年程變つたことが無いですか、ニュースとはどんな意味ですか、ノモンハン事件停戰の寫眞なぞ今頃見ても何の感銘も湧かない、扇芳會館か金を拂はぬので配給停止となつたのかそれとも國通さんが寫眞ニュースを止めてしまつたのか、何れにしてもあんな古い寫眞をさらし物にしておくのは國通さんの恥と思はんですか、どんなものでせうね

▼…文句はこれだけにして次は小村チロルちやんの映畫感想本社の映畫批評コンクールの第二回選定となつた「女だけの氣持」を見て來ていさゝか感動したらしく「ヒステリーの奥さんなんぞに精々見せてやるべきね、女ながらも女性の淺墓さといふものがしみ〴〵わかつたことよ」と話してゐたひとつ彼女の進言した如くヒステリーの奥さんだけで批評コンクールを開くか

滿映では市内各小中學校長及び映畫主任の先生と協議左のフキルムにつき試寫選定を行ふことゝなつた、選ばれた映畫は

▼上海陸戰隊▼揚子江艦隊▼裸の教科書▼頬白先生▼娘の願は唯一つ▼花つみ日記等である

滿映ニュース 第七十六報

一、禁衛隊軍旗祭（新京）
一、國都に展く愛馬の日（新京）
一、釋尊聖誕花祭り（奉天）
一、好成績に終つた石炭節約（新京）
一、新らしき出發、華北政務委員會（北京）
一、素描滿洲第十六輯「カザック祭」

學校映畫 何にしようか

全滿八大都市の各小學校及び中等學校では今回從來の十六粍小研巡映を廢し三十五粍による映畫會を毎月一回上映觀覽せしめることゝなつたが新京市内の各學校では協和會館、滿鐵社員倶樂部を會場に充てる筈で、

ホウソウ違ひ

先日いつもニコニコの牧野製作部長

「演藝係を呼べ!!」と荒々しい。恐る恐る演藝係の〇〇氏御前に出で「何か御用ですか?」とお伺ひをすると

「君我社の演員が放送をする日に出なかつた者があるさうだがどうしたんだ?」

演藝氏首を傾けて記憶を呼び起して見たがそんな事はない筈

「絶對にありません!」

牧野氏

「でも根岸理事が確かに聞いたらしい、根岸理事の室まで一しよに來たまへ」

演藝氏牧野氏と共に理事室に入る、早速放送穴あけの件の眞僞の程を根岸理事にたづねたところ根岸理事不審な眼差で沈思數刻ハタと膝を叩き

「君、僕の言つたホウソウとは種痘の事ぢやよ」

スタヂオ便り

▲「轉落の詩集」…開始日活多摩川島耕二監督の「轉落の詩集」は川崎方面ロケより撮影開始した十和田湖畔ロケは雪量が餘りに多いため豫定を遲らせたが十三日に同方面に出發した

▼「幡隨院」…お花見ロケ…南旺映畫、前進座提携第一彈、千葉泰樹演出「幡隨院長兵衛」は十六日より三日間、稻田堤に大規模なお花見ロケーションを行つたが、長十郎、翫右衛門等前進座總動員の他に、エキストラ五百名を登場させた

▼廿世紀フオックスで活躍を續けてゐるイギリスの喜劇女優グレシイ・フイールズと監督のモンテイ・バンクスは「モーレイは祈る」をイギリスで製作する

ラヂオ けふの番組

朝

七、〇〇（新京）建國體操
七、一八（大連）入港船のお知らせ
七、二〇（新京）ニュース
七、三〇（新京）朝の修養 陸軍少將 辻權作「武人を語る」（二）
七、五〇（大連）中等滿洲語講座 秩父固太郎
八、二〇（新京）氣象通報
八、二五（新京）吹奏樂（レコード）ドイツコロンビア吹奏樂團他（一）喜歌劇「輕騎兵」序曲（ズッペ作曲）（二）行進曲「デザウエル翁」（三）擲彈兵行進曲（ラデック作曲）（四）行進曲「コオブルグ・ジョシアス」（五）行進曲「オイゲン公」（六）謝肉祭行進曲（ラインデル作曲）
八、四五（新京）建國體操
九、〇五（東京）經濟市況
九、三〇（東・奉）經濟市況
九、五〇（奉天）幼兒の時間 童話「ナマケモノノモウキチ」藤本克巳
一〇、〇五（哈爾濱）家庭メモ
一〇、一〇（哈爾濱）料理獻立
一〇、二〇（大連）家庭の時間「代用品と家庭」北村福太郎
一〇、四〇（新京）食料品値段
一一、三五（奉天）經濟市況
一一、四〇（東京）經濟市況
一一、五九（東京）時報
一二、〇一（奉天）經濟市況

晝

一二、〇五（新京）土曜コンサート 管絃樂 新京交響樂團 指揮 大塚淳 一、組曲「カルメン」第一番より（ビゼー作曲）（一）プレリュード（二）アンダンテ・モデラート（二）トレアドール（アレグロ・ヂオコーゾ）二、組曲「アルルの女」第一番よりアダヂエット（ビゼー作曲）三、圓舞曲「碧きドナウ」（J・シュトラウス作曲）
〇、三〇（東・新）ニュース
〇、五〇（東京）野球試合實況 東京大學野球聯盟リーグ戰 ‖明治神宮外苑野球場より中繼‖ 早稻田大學對東京帝大第一回戰 立教大學對明治大學第一回戰
一、〇五（東京）經濟市況
二、五五（新京）氣象通報
三、〇〇（東京）婦人の時間（野球ある場合は中止）「人形つくりの苦心」岡とよ子
四、〇〇（東・新）ニュース
五、三〇（新京）レコード（野球ある場合は中止）輕音樂 ウイーン・ボエーム管絃樂團（一）ボレロ（二）ゴリウォッグのケーク・ウォーク（三）アレキサンダーラッグタイム（四）ほのかな光（五）喜びと不安（六）アリ・ババ（七）カスダネットの調べ（八）奥さまお手を

夜

六、〇〇（東京）子供の時間「なぜ〳〵問答」解説 理學博士大島正滿
六、二〇（新京）コドモの新聞
六、二五（哈爾濱）初等ロシア語講座 櫻木新吾
六、五〇（新京）國民メモ
六、五五（新京）カレントトピックス
七、〇〇（東・新）ニュース（新京）告知事項、今晩の番組
七、三〇（新京）講演 帝政記念國民勤勞奉仕「全國綠化運動七周年に際して」産業部林野局長 伊藤莊之助
七、四〇（大阪）子供と家庭の夕 一、吹奏樂「行進曲集」全關西吹奏樂團聯盟 二、錄音 三、童謠と唱歌 四、智慧問答 五、國史劇「村上義光」大西作夫作
九、一〇（哈爾濱）滿鮮交換放送 獨唱テノール（シユマンスキー）メゾオソプラノ（キーラ・エウストラトノウイッチ）伴奏 哈爾濱放送室內管絃樂團 一、歌劇 道化師よりアリア（レオン・カヴアロ作曲）二、歌劇 皇帝に捧げし命よりワーニアのアリア（グリンカ作曲）三、歌劇「カルメン」よりドンホセのアリア（ビゼー作曲）
九、二五（京城）大琴獨奏と新民謠 一、大琴獨奏 二、新民謠（一）臼打鈴（二）天安三巨里（三）梁山道 金永根 張朶紅（伴奏）京城放送管絃樂團（指揮）洪蘭坡
九、三九（東京）時報、ニュース、ニュース解説（新京）ニュース、氣象通報、告知事項、明日の番組
一〇、三〇（新京）今日のニュース
一〇、四〇（哈爾濱）北滿の時間（露語）

なぜ〳〵問答 大島正滿

（子供の時間）

血はたえず體内を流れてゐるのに空氣にふれるとなぜかたまるのでせう

兎さんのお目々はどうしてあんなに赤いのでせう

人間には毒になる黴や蜂などを魚や鳥がたべてなぜ死なゝいのですか

犬や猫も人間のやうに夢をみるのでせうか

泣くとどうして涙がでるのでせう

今日の放送は以上のことがらについてお答へいたします

順子の娘（10） 小杉好夫作 堂門重生畫

一つの人生

殆んど毎日の樣に淑子は大官連の思召によつて木蓮莊に連れ出されてゐた

織田もその常連の一人であつた

織田と淑子の仲は隨分古くからで淑子が新京へ來た當時から初まつてゐた、多くの男の中で淑子が戀らしい感情を感じたのは此の織田一人と言つてよかつた

他の連中は皆自分を慰みもの位にしか思つてゐない

皆んなが慰みものにするなら慰み物にしたつて良い

女の哀しさを最早半ば呆らめて次から次へ渡されるバトンの樣に男から男へ手渡される自分の姿を眞實淋しく見つめるより他はない

此の頃の淑子に取つて織田の存在は唯一つの救であつた

やり手だと言ふ評判に似ず織田はお坊つちやんの樣な氣質を持つてゐた

ある時は織田は淑子を飛行機で日本へ伴つたりした

尖端的な甘い戀の旅行の想ひ出はいつまでも淑子の胸に殘つた

お姫樣と王子樣の戀の樣にそれはロマンチックな夢であつた

初めて乘る飛行機、もうその日中には東京へ着いてゐたのだ、夢の樣な思で二人樂しく歩いた銀座の街

輕く疲れて富士アイスでお茶を飲んだ時の樂しさ、體だけを任せた生ける人形としてではなく自分の持つてゐるもの……心と體の總てを投げ出して男を歡ばせ樣と淑子が女としての愛の本能に目醒めたのもその夜が初めてであつた

そんな事から二人の仲は急ピッチに信愛の度を增して行つた、戀するとなぜに斯うも心が弱くなるものかしら…東京から歸つて來て以來二人はあんまり離れ離れになり過ぎてゐる樣な氣がしてゐた

淑子は男の方から屢々會ふ機會を作つてくれるものと思つてゐた、而し織田にはさう云ふ女の氣持を察する智慧がないらしかつた

自分の方から電話でもかけなければ一週間も二週間も音沙汰がないんぢやないかしら……

戀に囚はれた女の弱味が淑子には切なく感じられた

男の顔が見られぬ時はせめて聲だけでも聞きたかつた、織田の許に一日に何度となく電話がかけられた

電話は來客中でも遠慮なくかゝつて來た、社員の中にも社長さんの電話が有名になつて來た

時には織田自身顔をしかめる時がないではなかつたかと思ふと淑子がその花の樣な姿を社に現はす事もあつた

移り氣な織田には淑子がそろそろ鼻につき出して來た、ミス・太陽にも木蓮莊にも織田が姿を現はす事が尠くなり淑子に味氣ない淋しい日が續いた

思ひ切つてもう一度だけで良いあの人の胸に顔を埋めて泣いて見たい……哀しいけれど別れるなら別れるで淑子には自分の心の整理がしておきたかつた

未練ぢやない……唯一度で良い……悲壯な覺悟に淑子の電話を持つ手がふるへた、而し遂に織田は電話口にさへ出て異れなかつた

淑子の心の傷手は深かつた、あゝ心と體のあらゆるものを捧げた織田さんでさへ自分を裏切つた、相手に幸福を與へる事しか考へなかつた自分の樣な弱い女まで泥沼の中に踏みにじるんであゝあんまりだ、あんまりだ、涙と共にその夜淑子の日記は綴られた

あたしは愛の最高のものを捧げた、而しあの人は電話にさへ出て異れなかつた「あたしは今日人生と言ふものを又一つ知つた……」

学芸

迷ひの日（四）

白石傳

映畫は再上映だつた。感激性の強い坂田は、初めは批評的な眼で觀て居たが、終り頃になると彼自身が畫中の人のやうに哀しみ、喜びそして泣いた。松野と純子は相變らず無感覺な表情で觀て居た。映畫が濟むと坂田は彼等と歸る方角が違ふのでその儘別れる事にした。純子は馬車の上から立つたまゝ見送つて居る坂田に振りかへりながら挨拶して、暗くてよく見えない顏に僅かの笑を殘して松野とともに去つた。

一人になつた坂田はコッコッ靴音をさせながら自分の家へと歩いた。だが何時の間にか彼の姿は、暗い街に並んで居る屋臺店の中にあつた。彼は身體全體が赤くなる程醉つて居た。然し彼の前にはコップが淋しく二つ置かれて居る丈だつた直ぐ近くの驛から發着する列車の汽笛が大きく響き、屋臺店の中に泌み込むやうに消えた。彼は、よし、驛に行つてみようと思ひ、立ち上つて、ぐんぐん大股で誰も通らない夜中の通りを突き進むやうに歩き出した。驛前の廣場に姿を現した彼はふと歩みを止めた。富子に會ひに行つた時の事が、明るく照し出されて居る廣場の眞中で、構內に入る事を阻止したのである。—K市にお出になる事は大いに歡迎する。と云ふ手紙を富子から受取つた坂田が何時驛につくからと電報を打ち、必ず迎へに來てくれると信じて夕暮近いK驛に降りた。豫定の時間より延着したので富子は待ち疲れて居るに違ひない、とあたふた驛の廣場に出たのであつたが富子らしい姿は一人も居ない。

折角愉しい夢を抱いて來たのに、來て居ない。その時丁度彼が乘つて來た列車が勢のいゝ汽笛の聲を吐いて發車した。最早彼の行くべき處は迷子になつて了つたのだ。彼は廣場の眞中に立ち大きな聲で、おうい、と叫んだ。

發車したばかりの列車に云つて居るのではなく、K市の何處かに居る筈の富子へ對してでもなく、彼自身に叫んだのでもなかつた。彼のとるべき方法がなくなつた時の空へ對する叫びであり、彼の思つた通りに開いて行かない人生への悶えだつたのだ。

坂田はおういと叫んだ時の氣持を二度と味ひたくなかつた。だがその時の自分のとそつくり變らない姿が明るく照し出されて居るのを知ると、その明るさに對して、むらむらと反抗心が起き、ぱつと驛の構內へ走り出した。そして各々列車を待つて居る群集の中へぐいぐい割り込んで行つた。

「馬鹿な奴がよくも集つたもんだ。お前達は何が目的で列車を待つて居るんだ。馬鹿な奴め、お前等をこのおれの手で、粉になる程叩きのめしてやるぞ。早く消えて無くなれ」と彼は叫び出さうとした。だが人々は彼をてんで問題にしなかつた。世の中には面白い道化者が多いもんだと彼を笑つて居るやうだつた。

坂田のつきつめた感情は急に方向を變へた。そして彼自身の手で、赤くなつて居る自分の顏をパタパタ、左右の手で眼に火花が出るほどなぐり出した。

酒の醉も醒めた坂田は、ぐつたり疲れて、夜中の二時過ぎに近いと云ふ頃、彼の住んで居るアパートへ歸つた。

彼の頭は困亂して居る。彼が今日行つて來た事が、何一つはつきり纒らない。どうも餘り平常の彼ではないやうな氣がした。彼はコップで水道の水を飲んで、そして大きな深呼吸をやり床を展べてみた。他の室は皆靜かである。彼は一寸起きあがると、机の上に手をやつた。墨で書いた父からの手紙であつた。手紙は大きな字で日本紙一ぱいに書かれて居た。

京劇（支那舊劇）の沿革（九）

樊植
大内隆雄譯

以上各節より之を觀れば二黄はもと黄腔であつて、湖北に生れた、もとは湖廣腔と言ひ、又楚調と言つた二簧腔とは無關係であつた又徽調でもなかつた、後人察せず、その起源を錯解した、二黄を二簧と同一調と誤認した、これ大なる誤である

二黄と二簧との區別及び變遷　夫れ所謂二簧とは、絃索に源を持ち、後に吹腔と稱した、顧英小錄に載するところに據れば「絃索北部に流れ、安徽人之を歌うて樅陽調となす、今石牌腔と名づく、又俗に吹腔と稱す」とあり、揚州畫舫錄には「高朗亭京師に入る、安慶花部を以て京秦二腔に合す其班を名づけて三慶と曰ふ」とある、聽春新詠には「二簧は徽部たり、邦子は西部たり、四大徽班、亦徽部の內に入る」とある、伍子舒批隨園詩話には「乾隆五十五年高宗八旬の萬壽に閩浙總督伍拉納、浙江鹽商に命じ、安慶徽をひきゐ都に入り祝はしむ」とあり日下看花記には「月官姓は高、名は朗亭なるもの、年三十歲、安徽人、本寶應籍現に三慶部に在り班を掌る二簧の耆宿也」とある。此に由り之を觀るとき、二簧はもと別な一腔調だつた、そして遂に盛んに行はれるやうになつた、ただ崑部或ひは秦腔班と分別し合演した嘉慶以後は單獨演唱しなかつた、その後西皮が盛んになり黄腔（即ち二黄）が盛んになつた、この腔は更に振はず消滅してしまつた。

二簧の內容に至つては、劇本は毎字打に工尺譜あり唱ふ時には双笛を用ひて腔を托し、或ひは鎖吶を以て吹奏した、今日二黄中に尚數齣を存してゐる、採親、花鼓、奇双合、打櫻桃（以上は吹腔）青石山、龍虎鬪、羅成叫肉、無底調（以上は鎖吶腔）等は皆二簧の遺跡なのである。

更に進んで之を言へば、二簧は乾隆庚戌より道光十年までに盛んに行はれた腔調であつた、道光十年以後は西皮黄腔（即ち二黄）が興起し、遂に寂として聞く無きに至つた、黄腔が初め盛んになつた時、二黄といふ名は無かつた、楊靜亭がその起源を誤解し黄岡黄陂としてから「竹」といふ字から「簧」を去りその說を牽強し、こゝに二黄の名が起つた。

以上を綜合するに、西皮二黄は各起源あり、二黄と二簧は亦大いに差別が存した前人の記述は明確であるのを、後世察せず、任意に僞造し、獨り心裁に出でた、今日京劇を研究される諸公は深く檢討を加へんことを望む、然らば京劇の眞の起源もこれを誤り傳へることないであらう。

朝鮮文學を讀む

二つの日譯朝鮮小說集を讀んだ。それぞれに特色ある作品であり、朝鮮の人々の生活についてよく敎へてくれる小說であり、心愉しく讀むことが出來た。文學の技巧なども大體に於いて立派なものであると思つた。ただ一つ妙に思つたのはすべてではないが、この二つの選集に收められた作品の多くが、不思議に貧しい無知な階層に取材した暗いやうな作品が多いといふことであつた。現代のインテリゲンチア、それも積極的に社會に立ち働くやうな人物を描いた作品といふものにはぶつつからなかつた。これは滿洲の滿系文學に似てゐる點もあると思つたのだが、滿系文學も最近ではかなり變つて來つゝある。勤勞者を描き、インテリゲンチアを描くやうになつて來てゐる。それが、この二つの選集について見ると、作品選擇の好みがさうさせたのか知らぬが、上述したやうな種類のものが多く、奇異に思へたのであつた。

それにしても、朝鮮の文學がこのやうにして紹介されるやうになつたことは大變いゝことであり、今後にもこの努力が續けられて欲しい。そして滿洲に住む半島の作家、詩人もかなりゐるさうであるからさうした人々がこゝでも日譯を大いに紹介してほしいと思ふのである。（原野人）

ふるへる海

西谷正夫

ふるへる海　透き冴える岩礁
しろの花を胸に挿しながら
告白をきいた
碧いまでとほい空想の胡桃林
けふもパン皿に花房が滴する
わかわかしい季節よ　ふるへてゐる海
燈臺がひかるとあなたの記憶が溢れます
潮騷の激情
海草の搖れ　靑くとほくへ
觸れるものもなく
群靑のうねりへひそやかに
掌を合せた
水脈は朱い花房を垂れてゐる
縛らぬ思想　藻屑に深ひ
白い藤の花　透きとほるほど美しく滲めてゐる

學藝消息

△『藝文志』第三輯　日本紀元二千六百年を記念し堂々六百數十頁の大册を近刊する、內容は、大内隆雄「日本文學的特性」杜白雨「日本文學的語言性格」非斯「日本與唐」仲賢衣・共鳴譯「關於明治大正名作」百靈「芭蕉俳句選譯」武者小路實篤・古丁譯「井原西鶴」森鷗外・莫加譯「阿部一族」山本有三・外文譯「海彥山彥」李雷雨・共鳴譯「現代朝鮮文學論」辛嘉旅「慈即稿」「少虹閑話北京」竹內正一・共鳴譯「馬家溝」外文「半生雜詠」田青「麥」小松「鐵檻」杜白雨「金泰棧」疑遲「回歸線」辛實「春秋」君歐「漢寨」その他である

精神の混亂（下）

岡田芳彦

文學は快樂である、と同時に人間の眞實を深く求めてやまぬ炎の如き精神である。私達靑年は眠れる獸のやうに、絕えず戰ひを欲してゐる。知性は意義なき戰ひをはばむ。かうして私達の本能と理智の爭ひは凄慘ですらある。あゝこの苦しみ、この疼き、涙と呻きで一杯な歌がこゝに生れる。眞實はその中でつゝましく赤、靑、綠、紫、茶、泥、灰いろに塗りつぶされた皮膚の下で、恰も枯草のごとくひつそりと眼を閉けてゐるのである。水のやうに澄んだ表情、寶石のごとき瞳。私達はこの淸淨な眞實の姿は已れに見せようと努力してゐるのであるが、しかし私達は殆どその姿を見つけ得ず、ただ濁りにみちた皮膚ばかりしか描けぬことが多い。悲しむべき事實ではないか。

私達にとつて最早肉體の自由は存在しない。我儘なのは精神のみである。文學は醜さへも、惡さへも美しき對象とすることが出來る醜として、惡として作品に描かれたものは既に醜でも惡でもなく、文學そのものである。白紙に書き綴つた文學が、最早、單なる紙きれや單なるインクの跡とは云はれないのと同樣に。

精神の瑞々しさを絕えず與へてくれる文學は私にとつて（生存を欲しない唯一の存在）である神よりも必要である。私は空想の悅びを知つてゐ、また味はふことが出來る。神はその材料となるのみである、

混沌としてゐる世紀で、文學もまた混沌としてゐる私は天才の出現を喜ばない天才は混亂の世紀をより混亂させることに成功するであらうから。白痴ばかりか天才ばかりの時代がくればその時には、天國のやうな平和が地上を訪れるに違ひない。

人間的であるといふ意味は弱さの象徵である。肉體や精神にあるひどい缺陷のゆゑに私達は惱みや苦しみを知らなければならない。文學がその苦しみや惱みから私を救つてくれる譯でもなくまたそんなことは實際不可能なことであるが、ただ私自身が文學にすがつてその苦惱の池より這上らうとしてゐるだけである。何故、文學を救ひとするのであらうか。何となくそれにすがつてゐるのが一番安心出來さうであるからに過ぎない。靑白い額と、拔け落ちた眉と、針金のごとき痩骨を持つた不安と呼ばれてゐる神どもに負けまいとしてゐる私の傍には、私を支へてくれる文學の姿が必ず見られるのである。私は文學の奴隷である。かう叫ぶ私の聲は悲しい響きを持つてゐる。自由であらんがため、隸屬することを欲しないため、私は文學を撰んだのではなかつたか！

愛とはその對稱に隸屬することである、

この言葉の響きの痛々しさを知つてゐるであらうか文學を愛する餘り私は文學に關しないところの私といふものを失つてしまつた。增むべきものよ、愛は厭屢憎惡ですらある。

喚き、呪ひ、呻き、哭き私達靑年は生きることの痛さに觸れたければならない眞實を求める靑年よ、私達はたゞ苦しみのみを背負つて、刺ばかりの路を、ずぶずぶと沈む池を、恐怖や不幸や飢餓の住む荒地や山をはるか遠く死に向つて歩きつゞけてゐる。（地球から出てゆく）ために私達は歩みをつゞけてゐる、その愚かさ、人生はなんと喜劇に滿ちてゐることであらうか。

出來れば虛僞でもいゝ、お芝居でもいゝ、明るい言葉を云ひたいものである。しかし私にはそれが出來ない。私は泥溝の中に住んでゐる鼠のやうに、たゞ濁つた言葉のみか喋れない。書けない。

まるで涙を樂しんででもゐるかのやうに私は悲しみの歌ばかり書きつらねてゆく。

明るさも、愉悅も苦惱も快活さも憂鬱さも、荒地のごとく混亂し、隣合せて、私の精神の中で生きてゐる私の精神の中に住むものは何であらう。穢れもある。美しさもある。一體、どれが私の精神であらう。混亂の精神、私には己れの正體すら不可解なものに見えてきてゐる。

懸賞募集

懸賞募集規定

(1) 優勝チーム並に個人最優秀打者

の豫想を官製はがきにて投票のこと、但し一葉に一問題を記すこと、二問題を併記したるものは無効

(2) 投票期日

四月二十日を以て締切る、當日付郵政局消印あるものは有効

(3) 投票場所

新京永樂町四丁目一　新京日日新聞社宛の事

(4) 開票期日

四月二十三日　新京日日新聞社

(5) 賞品

▲優勝團體の分

一等一人、二等一人、三等五人、四等十人、五等十人

▲個人最優秀打者の分

一等一人、二等一人、三等五人、四等十人、五等十人

（但し的中者多數の場合は警察官立會の下に抽籤を行ふ）

後援　西山運動具店

チームとメンバー

▲滿洲電業チーム

長谷川治（投手）
澤野宗義（同）
○小山常吉（同）
○宮崎悟（同）
○福村泰尚（同）
○淺原熊雄（捕手）
○山内勝義（同）
宍戸清泰（主將）
○松本正（一壘）
佐藤寛吉（二壘）
上坂春雄（同）
○大西龍象（同）
杉田榮（三壘）
竹内醇吉（同）
緒方修（遊擊）
○井上三郎（同）
矢野一雄（外野）
白川一（同）
○一尾重則（同）
○橘本榮三（同）
○西亮介（同）

▲滿洲國チーム

矢野宇吉（投手）
岡本矩雄（同）
○巻口平八郎（同）
○蘆澤哲（同）
○竹内信也（同）
○添野訓（同）
二木茂明（捕手）
廣瀬明（同）
○川邊政明（同）
○十河一夫（同）
○高田喜七（同）
平田清一（一壘）
○森元正治（同）
○細田秀夫（同）
岡本矩雄（二壘）
○遠藤美知（同）
淺原芳夫（三壘）
佐々木信治（遊擊）
高橋喜朗（外野）
栗原久芳（同）
古岩井字一郎（同）
○西澤清（同）
○前田利春（外野）
○北山繁雄（同）
○五味貞雄（同）
○内海靜（同）
○那須賢二（同）
○横田茂（同）

▲電々チーム

○西村幸生（投手）
○稲田正次（同）
○榊原明一（同）
○小谷宗彦（同）
高木行雄（捕手）
關愿夫（同）
○北島誠一（同）
村田信一（一壘）
宇多村俊一（同）
野村實（二壘）
○成瀬勝光（同）
森下欽平（三壘）
廣田巧（遊擊）
○毛利智治（同）
稲田時夫（主將）
金村春雄（外野）
○要聖壽（同）
○松尾五郎（同）

▲滿鐵倶樂部

小幡元信（監督）
石橋末男（マネージャー）
大田原三郎（投手）
三上豊治（同）
齋藤保三郎（捕手）
○吉川時男（同）
○少林等（一壘）
○森谷勝信（二壘）
松浦壽夫（三壘）
山本松太郎（遊擊）
○鈴木正義（同）
谷島雪郎（外野）
小林政夫（同）
中田利夫（同）
○横木憲二（同）
○木下直一（同）
○山中晧吉（同）
○清水久（同）

○印は新人選手

主催　新京日日新聞社

祝 第七回 全新京野球大會

新京
三中井
電話代表②二八一一番

百貨店
宝山
電話代表②五〇一一番

新京
櫻ホテル グリル
本館（電話②一八一五・一八一六番）
別館（電話②一五四三・一五四四番）

滿洲證券取引所取引員
振興洋行新京支店
新京朝日通り八一
電話③三一〇四・三五七八番

春向
男物純毛セーター
カッターシャツ
洋品百貨
マルイシ商店
入船町二丁目
電話③三六六七番

風邪（かぜ）に大陸風薬
淋病にゴノレーヤ
新京東二條通り二七
双葉薬局
電話③六四三五番

精養軒
東一條通一七
電話③二三〇五

花柳病
肛門病科
筈元醫院
新京ダイヤ街老松町
電話③五六一六番

凸版・寫眞版
北澤製版所
曙町四丁目
電話③四一一四

菅沼タイプライター
滿洲直賣所
新京發路一〇一五號
電話②四四五二・四四五三番

御書齊の御整理は是非當店へ
巖松堂書店
新京東一條通一六
電話③五五五四　振替奉天一二六五

傷痍軍人らに草花御下賜

皇后陛下の御仁慈

【東京發國通】畏くも皇后陛下には事變以來傷痍軍人遺家族の上に深き御仁慈を垂れさせ給ひ曩に戰傷軍人千葉療養所に入所中の戰傷軍人御見舞の思召に花卉、球根、種子などを下賜あらせられ

又去る三月には軍事保護院所管の各施設に入所中の者に對し楓七百本を下賜あらせられたが、今般更に同院所管の各施設に入所中の戰傷軍人、戰歿者寡婦を御慰めあらせらるる有難き思召をもつて吹上御苑において御栽培の春蒔花卉、三色菫、朝顔、鷄栗、コスモスなど四十三種類、各種ダリヤ、カンナ、シクシアの球根三種類御下賜の御沙汰あり三島同院副總裁は十九日午前十一時宮内省に出頭、廣幡皇后宮太夫より謹んでこれを拜受恐懼して退下、保護院では直ちに全國卅六ヶ所の戰傷軍人療養所、八ヶ所の戰歿者寡婦教員、保姆養成所などに傳達の手續きをとつた

球戰始る

あす二試合

電業對滿洲國　電々對滿倶戰

第七回　全新京野球大會

本社主催

聖戰第四年の春、銃後者人の意氣高らかに野球國都の幕開く本社主催、西山運動具店後援第七回全新京野球大會は愈よあす廿一日正午より若芽ふくらむ兒玉公園野球場に於て絢爛たる入場式を以て火蓋を切つて落すことゝなつた、新京商業ブラスバンドの吹奏に依り展開される豪華な入場式に華添へるものとして始球には特に星野長官の出場を請ふこととなつた、星野長官は人も知る熱心な野球ファンで一家を以て星野チームなる軟式チームを結成してることはあまりにも有名なことで、大會劈頭を飾るに相應しいものであらう

入場式に引續き第一次試合電業對滿洲國、第二次試合電々對滿倶の熱戰を展開するが、球神は何れに微笑むか、更に翌廿二日緋の大旆目指す決勝戰は午後四時半より開戰するが、放送局では特にこの日球場より實況放送を行つてファンの熱望に應へることゝなつた

豫想投票　けふ締切り

果して何れのチームが榮ある覇者となるか、國都ファンの絶讚に應じて目下懸賞募集中の「優勝チームは何處か」「個人最優秀打者は誰か」の豫想投票はけふ廿日締切るが、廿日附郵政局消印あるものは有効である

から讀者は奮つてこの二つの（？）に解答を與へて貰ひたい

嚴重になる質屋の〝門限〟

切られる利息の綱

流質に〝待つた〟なし

庶民階級の簡便な金融機關一六銀行は本年一月より利息の引下げ、二月一日より流質期限六ヶ月の延長を全滿各都市一齊に實施した結果、各質屋業者はさらに當局が或る時期に流質期間を十二ヶ月まで延長せんとする意圖と相俟つてかうまで抑へられるんぢや將來到底營業繼續は不可能だと實施早々から資本喰ひ込みを恐れて店を閉ぢるもの、轉業するもの又業態不振で廢業するもの續出の傾向あるに鑑み、先般來市内各質屋業者は我等の生活擁護を叫けんで起ち、哈爾濱、奉天、吉林各都市の同業者と結束相謀つてこれが窮狀打開の便法を當局へ提出するとともに種々事實もて嘆願運動を續けてゐたが、治安部、首警當局でも無理からぬことゝして近く業者提出の便法を認可することゝなつた

窮狀打開の便法とは、從來利息さへ期限内に納めてをれば何年經つても流されることはなかつたが、今度は入質してから四ヶ月目に一度利息を支拂ひ期限滿了の日までに殘餘の利息を拂ふとゝもに擔保物件を受出さねば流質すると云ふのである、萬一四ヶ月目に利息を拂はなかつた場合は物件受出しの意思なしとみることになつてゐる

この便法により業者は兎角滯り勝ちになる利息を擧げること並に元金の回收が速かに出來ることとなり一息つけると云つた按配だが、利用者には六ヶ月をもつて受出しとなつたのはちと辛いことになる

石炭分科會　重要物資整備委員會石炭分科會は十九日午後二時より市公署

聖戰美術移動展

四大都市で開催

新京では五月下旬寶山で

昨秋東京に於いて開催され好評を博した聖戰美術展覽會に出品された作品中代表作を滿洲に紹介するため二科會々員栗原信氏が中心となつて計畫中であつたが、その選定作品は二科會系統の色彩が濃厚であつた爲め滿洲國側でも展覽會開催に躊躇の色を見せてゐたが今回新たに陸軍美術協會が主催、日滿文化協會の協力を得て聖戰美術展出品作二百餘點の中代表作八十點を選定し滿洲主要都市に移動展覽會を開催する事になつた

開催地は五月中旬大連を振り出しに奉天、新京、哈爾濱四都市とし新京開催は大體五月下旬になる見込みで、會場も寶山百貨店と内定されてゐる今回紹介される作品はすべて現日本畫壇の花形の努力した傑作揃ひで四百號の大なるものもあり興亞聖戰下の有意義な催しとして各方面より期待されてゐる

恐しい空氣傳染

腦脊髓膜炎猖獗

防疫陣の非常警戒　注意書配布

國都市民を恐怖のどん底に叩き込んだ流行性腦脊髓膜炎は本年に入つてから二月二名、三月五名、四月十五日迄に十五名、一日一名の割で罹患者が發生してをり更にこの恐るべき病魔は日と共に益す蔓延の兆がある のに鑑み首都警察廳衞生科では國都防疫陣の面目にかけ今後の罹患者發生の防止に努めるべく市公署防疫科と協力の上これが對策に乘り出すこととなつた

腦脊髓膜炎は鼻咽の分泌物の中に潛伏してゐる關係上對話したり病菌保有者の咳に依つて容易に傳染するものであるから、これに關する注意事項を箇條書にしたパンフレットを印刷、新聞に折込んで市民の警戒を促すことになつた

尚同科では今後傳染病發生期毎にこの種宣傳を積極的に行ふ事となつた

蒙古の娘さんが日本へ馬の見學

遊佐局長に語る……健氣な抱負

日常馬と一緒に暮らすといはれる蒙古娘たちが日夜姉と師事する日本女性に伴なはれ生れて初めての長旅を續けはる／＼日本へ馬匹見學の途十九日朝入京、見學要領の指導を仰ぐため昭和の曲垣遊佐馬政局長の許を訪れた、一行は日本人として最初の入蒙者で古くから蒙古開拓に一家を擧げて盡瘁してゐる農事合作社理事光村芳藏（五四）氏令孃小夜子（三〇）さんを誘導役にブデダマ（一三）バーフ（一五）ドルマ（一六）ダシツートン（一七）さん等で何れも綺麗な蒙古服に身を固め成吉思汗の流れをしのばす潑剌さのうちに片言ながら日本語で交々語る

蒙古では家畜は家族の一員です馬は下駄と同じで小さい時から上手に乘りこなし馬がないと隣村へも行けないのです、ドルマさん等は裸馬で千里の途を疾驅する名騎手ですがでも汽車へ乘るのは皆生れて初めてです、乘つたら最後ひといきに新京へ着くのかと思つてゐましたら思ふ所で（驛の事）自由に停るので大變面白く不思議に思ひました

四人の話が終るのを待つて小夜子さんが

二ヶ月ばかり滯留するのですから馬だけでなく凡てについて良き認識を深め、蒙古娘の口から日本の眞の姿を吹聽させ、教育の一助ともしたいと思つてゐます、父もそのために此の擧を計畫して吳れたのです

と抱負を述べれば、遊佐閣下も

家畜を愛する心の非常に強い蒙古の娘さん達が馬匹改良のために日本見學をすることは大變有意義なことだ、日本の有能な馬が出來る所以を覺えて蒙古馬の改良に寄與して貰ひ度いと思つて關東の三里塚御料牧場、主馬寮中山競馬及び東京乘馬クラブ等へ紹介することにした、これから良い馬を作るにはどうするかといふ話を見學豫備知識として聞かせる所です

と健氣な少女達の行を祝した、なほ一行は廿日新京驛發六月頃歸蒙する【寫眞は遊佐馬政局長と語る蒙古少女】

滿系訪日教員團　市公署訪問

盟邦日本の眞の姿を認識滿系第二世達に傳達すべく使命を帶びて二十二日新京出發訪日の途に上る市内滿系教員十餘名は、打揃つて十九日市公署教育科を訪れ陳教育科長から旅行中の注意其他につき訓示を受けた尚一行の旅程は約一ヶ月の豫定で五月下旬歸京の筈である

まづお米に通帳制

六月一日から實施（豫定）

通帳制配給による重要物資需給適正のため市では經濟委員會各分科會によつて實施の萬全を期してゐるが、重要物資中特に市民生活に密接な關係を有する米穀、小麥粉、石炭の三種目の通帳制配給を早急に施行して自主的動員體制の確立、配給物資の監視、買溜の防止、闇取引の防遏、適正價額の保持等による市民生活に眞の安定をもたらすべく各區長ならびに町會長との指示打合會などをはじめ各穀に亘つて準備工作中のところ、この程數次にわたる糧穀會社との折衝によつて米穀については略ぼ市民消費量の確保に見透しがつくに至つたので、三種目のうちまづ米穀の通帳制配給を行ふことに大體決定、六月一日實施豫定の下に諸般の準備を進めることゝなつた

第一會議室に於て市公署、日滿商事その他關係者參集本年度一期分（四月より六月まで）新京特別市割當分配給に付き協議を行つた

東新京火事　十九日午後三時頃東新京滿鐵社宅（二階建四戶）稻垣良一氏（二階）方から留守中に發火、新京消防署の出動で同家を半燒、隣家の屋根裏を燒いて同四時四十五分鎭火した、目下長通路署で原因取調べ中であるが電氣コンロからとみられ、損害約五千圓

春の大掃除

五月二日から實施

結氷期以來市内の各空地並道路上に塵芥、汚物の山が各所に散在してゐたり汚水の滯溜等不潔な個處が甚だ多く、國都市街の美觀を傷つけること夥だしく然もこれに依る國都市民の保健上に被る弊害も尠くないので首都警察廳衞生科では新京特別市公署と協力、二十日から實施する豫定であつた清掃週間を本廳巡閱と期日が重複する關係で延期したが愈よ來る五月二日から一週間に亘つて市街地清掃週間を實施することとなつた

一五列車の箱師

蓬萊町一ノ一三末綱畔（五五）氏は十八日午前八時新京驛着一五列車で大連からの歸途、大石橋、四平街間で千百八十圓在中の二ッ折黑革財布を窃取され警乘員に訴へ出たが、同時刻頃大同大街三〇二西脇勝茂（四八）氏は八十圓在中の紺色博多織財布を、又營口市大和區神明街二四清水三郎（五〇）氏は百十圓入の赤皮二ッ折財布を何れも窃取されて訴へ出た

この車の如き箱師（一等車の紳士？）の出現に新京警護隊では各沿線詰所へ手配し嚴探中である

國都に初めてのニュース劇場計畫

新京第一ホテル　愈よ廿九日開業

觀光國都の春は早くも訪れた「新京へ泊るなら天幕持ちで」とまで言はれた深刻な旅館難の再現に、關係各機關躍起となつて對策を講じつゝある折柄、吉野町繁華街の一廓に聳ゆる街の名物白堊の殿堂「新京第一ホテル」が愈よ來る二十九日を期して開店することゝなつた、同ホテルは起工以來二ヶ年の星霜を經、その間幾多受難の道を歩んでここに開店を見るもので市民にとつては正に待望のものであつた

昭和十三年春全滿一を目指し約百萬圓の豫算を以て起工その冬十一月建坪二千坪五階建の堂々たる白堊の殿堂は竣工、名古屋ホテルの看板も眞新しく前途を期待されつゝ開店を目睫にしたその月の中旬、不幸劫火に見舞はれ、一朝にして烏有に歸した、經營者遠藤信平氏が心血を注いだこのホテルの災禍は當時いたく市民の同情を惹いた、遠藤氏はこの不幸に屈することなく世評をよそに直ちに再建に着手資材難を克服工事中であつたが、昨年十月内地のホテル王東京第一ホテルが買收、資本金百五十萬圓を以てその名も「新京第一ホテル」と改稱することゝなつた

彌來「コストを低く實質的なホテル」の新營業方針に基いて鋭意内部を改裝中のところいよ／＼諸般の準備なつて開店の運びに至つたものである

客室は百室、收容人員二百名、近代的設備に遺憾無きを期した同ホテルの出現は早天の慈雨にも似て旅館難の緩和と共に旅館業者の先鞭をなすものとして注目されてゐるが、さらに同ホテルの誇るものに二百人を收容する食堂並に二階には數奇をこらしたおでん、壽司、天ぷら、燒鳥の立食ひ、すき燒の室等を施設しうまい和食を提供しようと計畫され、さらに將來は國都市民の一大娛樂場、慰安場として地下室に家族向の喫茶店、次いでニュース劇場等の第二期計畫も立案されつゝあると言ふ、ホテルとして正に東洋一を誇るにふさはしい豪華版、今後の進展に多大の期待がかけられてゐる【寫眞は新裝新京第一ホテル】

青年學校五周年

五月一日全滿に記念行事

青年學校制度が施行されてから早くも五周年を迎へたので五月一日の創設記念日を期して在滿教務部では時局下青年教育の重要性を強調し二千六百年の佳き歲に迎へた五周年記念を意義づけるため全滿百二十五校六萬人の生徒を總動員し在鄕軍人の協力下に各學校所在地毎に閱兵分列、野外演習國防競技、武道大會、行軍等を擧行せしめ銃後若人の意氣を高揚するとゝもに聖戰下に迎へた輝く五周年を壽ぐことゝなつた

猩紅熱發生　天然痘腦脊髓膜炎等傳染病の脅威頻りなる折柄市内永樂町三丁目二二番地金春植（七）さんは十九日至誠堂醫院に於て診斷の結果猩紅熱と判明隔離された

不在中盜む

八島通三五ノ四貸家業坂井義正さん方店員福島縣生れ中井弘泰（三三）は十八日午後家人不在を奇貨に價格八百圓の寫眞機一臺と同僚の預金通帳（額面百圓位）を窃取逃走してゐるのを家人が發見中央通署へ取押方願出た

七分搗

若い記者達から慈父の如くに親しまれてゐる長谷川報道班長、齒痛に惱まされてゐると聞き、班長いゝ藥がありますが持つて來ませうと申出た某君、夕刻、班長持つて來ましたよと勢ひよく官舍の玄關に飛込んだところが、寡居と思ひの外、奧さんに出迎へられ、ポケットに手を突込んだまゝでチュウチヨシュンジユン、あの班長に直接お渡ししたいものがありましてと堅くなつてゐる、なんだ／＼と奧から出て來た班長に、そつと手渡したのがアルパジル錠、効能書をよんでみると中耳炎、扁桃腺炎、齒槽膿漏、急性、慢性の淋病に卓効ありと云々とある、該博なるアルパジル談義を試みるつもりで押かけたんだらうが、家内がゐたんで遠慮して退却したんだらう、案外心臟の強くない先生だつたよと呵々大笑してゐた

けふの天氣　北西の風曇時々雨後晴
きのふの氣溫　最高　一二度七　最低　一度八

基督教特別講演會

講師　東京大森日本基督教會　前「福音新報」　佐波亘先生
場所　中央通日本基督新京教會
日時並演題
四月二十日（土）夕七時半
同二十一日（日）朝十時半
同　夕七時半
同二十二日（月）午後一時半
―來聽歡迎―

世紀の英雄（22）

（岩田・細斷上演） 番仲二 夏目修畫

レビュ皇軍行進（三）

他人の秘密を覗きみでもしてゐたやうな氣がして達夫はほつとし乍ら顏をあげると其處に牧が立つてゐるのだ。

『君か』

『君かあつて、一體何してたんだい？』

『君の細君の月給袋が僕の足にくらひついたもんだから追拂つて居たんだよ』

『なんでえ。僕はまた五十錢玉の一つも落ちてゐたのかと思つてゐたよ。それより早く何處かへ行かうぢやないか。此處に居ると』

達夫は一刻も早く鐵子から逃れやうとしてゐるその周章て振りをみると、日頃氣取つてゐる彼だけにをかしかつた。わざと落ちついて、

『細君が怖いんだろ。餘り僕をだしにつかふなよ。殊に餞別なんて出征詐欺はおだやかぢや無い』

『あれつ、もう知つてゐるのか』

『知つてゐるのかつて、やるならやるで初めつから事を明かしてゐてくれよ。こつちが周章てしまふぢやないか』

『お鐵の奴、むくれてゐたかい？』

早足で歩き乍ら眞底から怖さうに牧にさう言つた。

『あゝ、相當だね。今夜あたりが思ひやられるよ』

『おどかすない』

默々つ兒のやうに牧は言つて

『……時にね。例の借金なんて今月はダメ（五圓）だけで勘辨してくれよ』

『あゝ、だから細君には五圓か貸してありませんて言つておいたよ』

『濟まない』

牧と達夫は劇場の前の橋の上にかゝつた。下には黑い川面に、それでも初夏の星が二つ三つ風に吹かれ乍らその姿を寫して居た。

牧はそれをみると急に改まつた調子で、

『岩田君』

と彼の姓を呼んだ。

『何だい。改まつて』

『別に改まつたわけぢやないが、たゞから言ひたかつたんだ。明日から又新らしく入つた踊子が來るんだつてな。今度は前よりはいゝ子が來るんだらうな』

達夫はあきれて眞面目くさつた牧の顏をみてゐたが

『いゝつて？ 顏かい。氣持ちかい』

『顏は勿論、それに身體がよくなくつちや』

『君らしい註文だね』

『あゝ。それに僕は伊藤デパートでも可愛い子を發見して來たんだ。今度案內するよ』

平氣でさう答へる牧の押しの强さに達夫は最初どうかしてゐるのぢやないかなと思つたが、又一寸羨しい氣もした。

『音樂部の色男を一人で背負つたやうな事を言ふなよ』

『なら君は聖人でござい、つてな顏をするなよ』

とたんに言ひかへした言葉、何處かぬけた所のあるやうな相手から出た辛辣な言葉に達夫はぎよつとした。

『別に聖人振るわけぢやないよ。僕だつて女の子は好きだ』

『さうだろ。それならもう少しやれよ。君だつてやれば出來るんだぜ。女の子なんて一押二押三押だよ。街あけみね。あの子は舞臺の隙な時、何時でもボックスの君を見てゐるぜ。初め僕かと思つてゐたら大間違ひよ。視線は僕を越えて後の君なのだ。歌の練習の時見ろよ。あいつ、君のそばへばかり行くぢやないか。早くものにしろよ。なんなら僕の部室を安く貸すがね。その點僕の所みたいにアパートはうるさくなくていゝよ』

達夫はあけみのとゝのつた身體が瞬間頭に浮んだが、うつかり話くでもなつたら牧の宣傳がうるさいと思つて極めて平然と、

『あゝ、何時かお願ひするよ』

と言つた。

街あけみは大和智津子と共にこゝの大スターであつた。

列車發着表

◎大連方面行
- △大連行 前二時三十分
- △奉天行 六時廿五分
- △釜山行 八時
- △奉天行 八時卅五分
- △大連行 九時三十分
- △營口行 十時三十分
- △四平街行 十一時三十分
- △奉天行 後一時五分
- △大連行 一時四十分
- △大連行 二時三十分
- △大連行 三時廿五分
- △四平街行 四時五十分
- △釜山行 六時五十分
- △四平街行 七時四十分
- △大連行 九時四十分
- △大連行 十一時十三分
- △奉天行 十一時三十分

◎哈爾濱方面行
- △哈爾濱行 前三時四十二分
- △德惠行 五時十五分
- △哈爾濱行 六時三十分
- △哈爾濱行 八時十分
- △哈爾濱行 九時
- △哈爾濱行 後十二時五十六分
- △哈爾濱行 三時十五分
- △哈爾濱行 五時三十分
- △德惠行 七時十分
- △哈爾濱行 十時卅五分
- △牡丹江行 十一時四十五分

◎圖們方面行
- △吉林行 前七時五分
- △羅津行 八時卅五分
- △圖們行 九時四十五分
- △吉林行 後一時
- △牡丹江行 三時二十分
- △吉林行 七時廿五分
- △淸津行 十時五分

◎白城子方面行
- △白城子行 前八時廿五分
- △白城子行 十時五十五分
- △前郭旗行 後五時三十分

◎大連方面より
- △大連發 前三時卅二分
- △大連發 六時十八分
- △奉天發 七時四十五分
- △大連發 八時
- △四平街發 八時四十六分
- △四平街發 九時四十分
- △四平街發 十時卅二分
- △釜山發 十一時四十三分
- △奉天發 後十二時三十分
- △大連發 三時
- △大連發 四時二十分
- △大連發 五時二十分
- △營口發 六時四十八分
- △大連發 八時二十分
- △奉天發 九時廿五分
- △釜山發 九時四十五分
- △奉天發 十一時三十分

◎哈爾濱方面より
- △德惠發 前零時三十分
- △哈爾濱發 二時二十分
- △牡丹江發 六時五十四分
- △哈爾濱發 前七時五十四分
- △德惠發 十一時三十分
- △哈爾濱發 後十二時五十分
- △哈爾濱發 一時三十分
- △哈爾濱發 三時十分
- △哈爾濱發 六時四十分
- △哈爾濱發 九時三十分
- △哈爾濱發 十一時三十分

◎圖們方面より
- △淸津發 前七時五十六分
- △吉林發 十一時廿四分
- △牡丹江發 後二時十分
- △吉林發 五時廿一分
- △圖們發 八時四十分
- △羅津發 九時三十分
- △吉林發 十一時十五分

◎白城子方面より
- △前郭旗發 十二時一分
- △白城子發 後六時卅二分
- △白城子發 九時五分

大阪商船出帆

門司、神戸行
- 吉林丸 四月廿一日
- 鴨綠丸 四月廿二日
- うらる丸 四月廿四日
- 黑龍丸 四月廿六日
- うすりい丸 四月廿八日
- 熱河丸 五月一日
- 扶桑丸 五月二日

（午前十一時大連出帆）

三角、鹿兒島、那覇行 大阪丸 四月十日 午後三時大連發

事務所＝大連、奉天、新京 哈爾濱、驛とビユーローで連絡切符發賣

廣告の御用は 電話(3)三三〇〇